

Pioneer *sound.vision.soul*

MDLP



MD/チューナーメインユニット

MEH-P717

取扱説明書

目次 4ページ

carrozeria

安全のために必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示内容を見逃して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

このような絵表示は、注意 (警告を含む) しなければならない内容です。



禁止

このような絵表示は、禁止 (やってはいけないこと) の内容です。



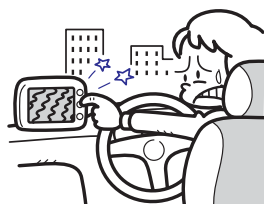
必ず行う

このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

警告

[異常時の処置]

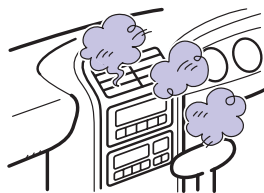
故障のまま使用しない



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



禁止

万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



必ず行う

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

目次

はじめに

- 1 各部のなまえ 6
- 2 本機のディスプレイ表示について 9
- 3 バッテリー上がりを防ぐために 9
- 4 デモモードについて 10
- 5 リモコンの準備 10
- 6 本機のリセットについて 11
- 7 50枚型マルチCDプレーヤーの
使用について 11
- 8 長時間録音されたMDの
再生について 11

ここだけでここだけ読めばすぐ使えます

- 1 聞きたいソース(音源)を選ぶ 12
電源を切る
- 2 内蔵MDのふだんの操作 14
MDを再生する
曲を選ぶ
早送り/早戻しをする
音量を調節する
MDを取り出す
- 3 ラジオのふだんの操作 16
バンドを選ぶ
放送局を選ぶ
音量を調節する
- 4 マルチCDのふだんの操作 18
CDを選ぶ
曲を選ぶ
早送り/早戻しをする
音量を調節する

内蔵MD

内蔵MDでMDを聞く

- 1 モードの切り換えかた 20
- 2 同じ曲を繰り返し聞く 20
- 3 いつもと違う曲順で聞く 21

- 4 聞きたい曲をさがす 21
- 5 MD再生を一時停止する 22
- 6 MDのタイトルを表示させる 23

ラジオ ラジオを聞く

- 1 複数の放送局を自動的に記憶させる 24
- 2 放送局を1局ずつ記憶させる 25
- 3 記憶させた放送局を呼び出す 25
- 4 放送局名を選ぶ 26

マルチCD

マルチCDでCDを聞く

(別売のマルチCDを組み合わせたときのみ)

- 1 聞きたいCDを直接選ぶ 28
- 2 モードの切り換えかた 29
- 3 同じ曲やCDを繰り返し聞く 30
- 4 聞きたい曲やCDをさがす 31
- 5 いつもと違う曲順で聞く 32
- 6 聞きたい曲だけ記憶させておく 33
- 7 記憶させた曲だけ再生する 34
- 8 記憶させた曲を1曲ずつ記憶から消す 35
- 9 記憶させた曲をCDごとに記憶から消す 35
- 10 CDのタイトルを記憶させる 36
- 11 CDのタイトルを表示させる 38
- 12 「CD TEXT」のタイトルや
歌手名を表示させる 38
- 13 タイトルを見て聞きたいCDをさがす 40
- 14 CD再生を一時停止する 41
- 15 CDの音質を調整する 42

音の調節

音を調節する

- 1 お好みの音の空間に設定する 44
- 2 イコライザーカーブを選ぶ 45
- 3 オーディオ調節モードの切り換えかた 46
- 4 前後左右の音量バランスを調節する 47
- 5 お好みに合わせてイコライザー
カーブを調節する 48

すぐに使いたいときは、
ここをお読みください。

6	イコライザーカーブを細かく調節する	49
7	低音を調節する	50
8	高音を調節する	51
9	小音量時の音にメリハリをつける	51
10	サブウーファースの接続方法に 合わせた設定にする	52
11	サブウーファーを使う	54
12	外部アンプなどで サブウーファーを調節する	56
13	低い音をスピーカーから 出力させないようにする	57
14	各ソースの音量の違いをそろえる	58
15	騒音に合わせて音量を変える	59

その他

その他の機能と付録

1	瞬時に音量を小さくする	60
2	時計を表示させる	60
3	交通情報を受信する	61
4	初期設定モードの切り換えかた	62
5	時計を合わせる	63
6	外部機器の音声を聞く	63
7	外部機器の名称を入力する	64
8	夜間のディスプレイの 明るさを切り換える	65
9	ディスプレイの明るさを調節する	65
10	リアの出力方法を変える	66
11	サブウーファースの調節先を選ぶ	67
12	ミュート/アッテネート切り換え	67
13	背景の設定をする	68
14	エンタテインメントを表示させる	69
15	MDの正しい使いかた	70
16	故障かな?と思ったら	72
17	こんなメッセージが表示されたら	74
18	保証書とアフターサービス	75
19	本機の操作の概要	76
20	おもな仕様	78

はじめに

内蔵 MD で MD を聞く

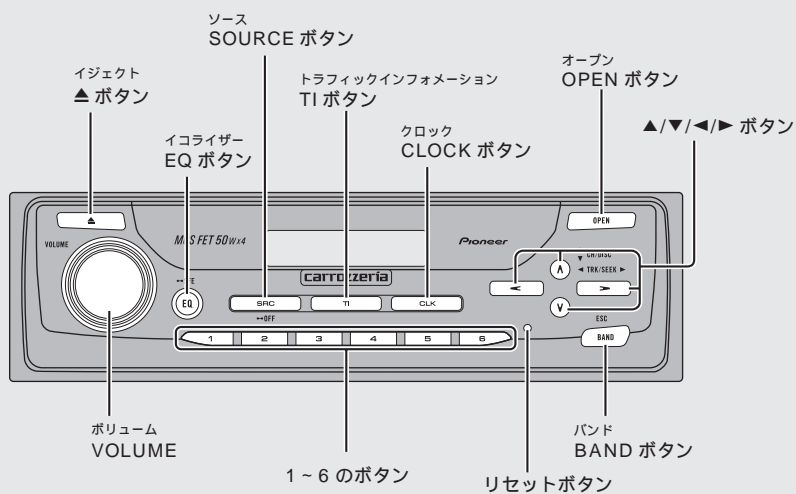
ラジオを聞く

マルチ CD で CD を聞く

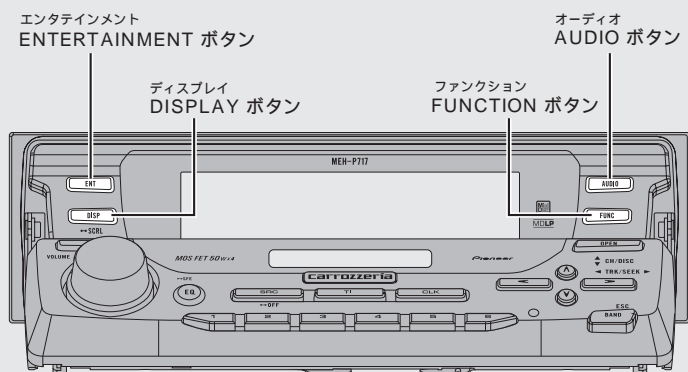
音を調節する

その他の機能と付録

本体 (CLOSE 状態)



本体 (OPEN 状態)



⚠ 注意



注意

フロントパネルの開閉動作中は、指などを挟まないようにご注意ください。



禁止

フロントパネルの開閉動作は、手動で行わないでください。フロントパネルに強い力が加わると、故障することがあります。

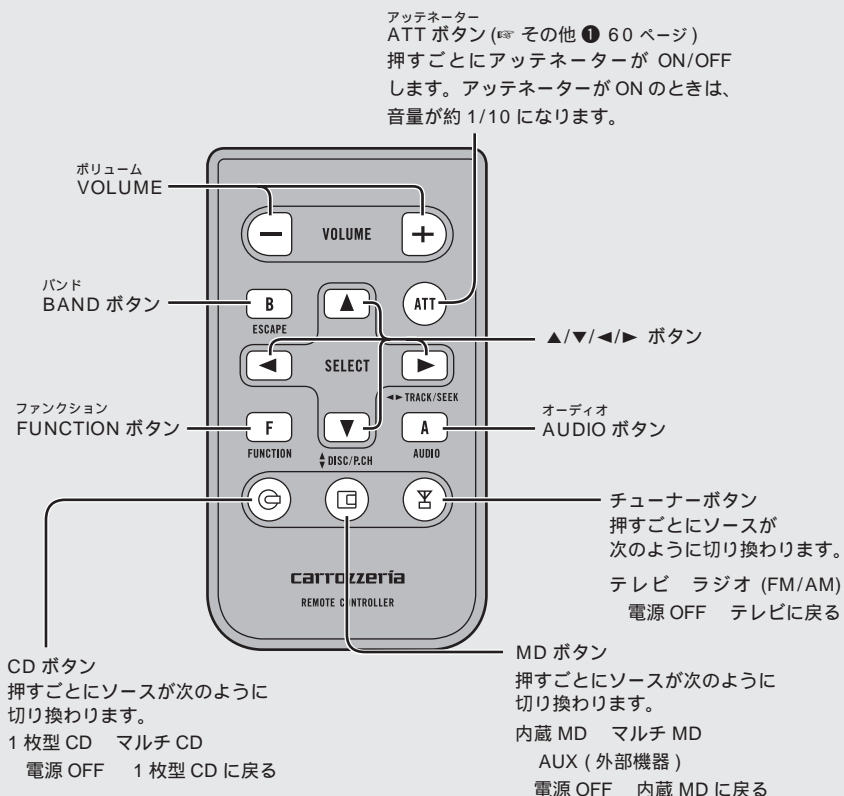
メモ

FUNCTION ボタン、AUDIO ボタン、ENTERTAINMENT ボタン、および DISPLAY ボタンは、OPEN ボタンを押して、本機のフロントパネルを OPEN 状態にしてから操作します。

各部のなまえ (つづき)

リモコン

各ボタンは、本体の同じなまえのボタンと同じ働きをします。
ATT ボタンは、リモコンだけに付いているボタンです。



FUNCTION ボタンと AUDIO ボタンについて

本機のフロントパネルが CLOSE 状態のときに、リモコンの FUNCTION ボタンまたは AUDIO ボタンを押すと、本機のフロントパネルは自動的に開きます。

はじめに

2

本機のディスプレイ表示について

本機には、LCDディスプレイと、OELディスプレイの2つの画面があります。

LCDディスプレイについて

LCDディスプレイは、本機の基本的な情報を表示します。また、LCDディスプレイは、フロントパネルが閉じた状態 (CLOSE 状態) でも、各ソースの再生状態、音量、時計表示などの基本的な情報を見ることができます。

LCDディスプレイは、アルファベット、および数字などで、8文字までの情報を表示することができます。

(例：内蔵 MD 操作時の LCD 画面表示)



ご注意

LCDの視覚特性上、取り付けた車両によっては、フロントパネルを開いた状態では、LCD画面が見にくかったり、見えなくなったりすることがあります。

OELディスプレイについて

OELディスプレイは、本機の詳細な情報を表示します。本機のフロントパネルが開いた状態 (OPEN 状態) で、各ソースの情報、各設定内容、エンタテインメントなどの情報を詳細に表示します。

OELディスプレイは、漢字・カタカナ・ひらがな・アルファベット・数字・記号などの表示に対応しており、OELの特性を生かした、鮮明な画像で情報を提供します。

この説明書では、主に、OEL画面を例に説明を行います。

(例：内蔵 MD 操作時の OEL 画面表示)



はじめに

3

バッテリー上がりを防ぐために

バッテリー上がりを防ぐためのご注意

本機を使用するときは、必ず車のエンジンをかけてください。また、本機が電源OFFのときでも、車のエンジンを止めた状態で、長時間、車のエンジンスイッチをON (またはACC) にしないでください。バッテリー上がりの原因になります。

車のエンジンを止めた状態で、フィーチャーデモおよびモーションデモを長時間表示すると、バッテリー上がりの原因になります。

はじめに 4 デモモードについて

本機には、リバースモード、フィーチャーデモ、およびモーションデモの3つのデモモードがあります。

リバースモードについて

リバースモードは、各ソースを聞いているときに約30秒間操作しないと画面が自動的に反転する機能です。反転は、10秒間隔で行われます。

リバースモードを解除したいときは、車のイグニッションスイッチがON (またはACC) のときに本機の電源をOFFにして5のボタンを押してください。もう一度押すと、モードがONになります。

フィーチャーデモについて

フィーチャーデモは、本機が電源OFFのときに、各ソースや本機の機能の画面を表示する機能です。

フィーチャーデモをONにしたいときは、4のボタンを押してください。もう一度押すと、デモが解除されます。

モーションデモについて

モーションデモは、本機が電源OFFのときに、各ソースや本機の機能の画面を表示し、約30分ごとにフロントパネルの開閉を自動的に行う機能です。

モーションデモをONにしたいときは、6のボタンを押してください。もう一度押すと、デモが解除されます。

メモ

車のエンジンスイッチをOFFにすると、フィーチャーデモおよびモーションデモは、OFFの状態に戻ります。

車のエンジンを止めた状態で、フィーチャーデモおよびモーションデモを長時間表示すると、バッテリー上がりの原因となります。

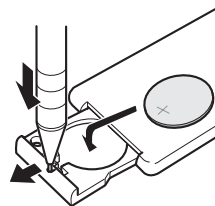
赤リード線 (アクセサリ電源) は、常に車のバッテリーから電源を供給する電源回路には接続しないでください。車のイグニッションスイッチと本機の電源をOFFにしても、フィーチャーデモまたはモーションデモが表示され、バッテリー上がりの原因になります。

はじめに 5 リモコンの準備

付属のリモコンを使うための準備です。

リモコンに電池を入れる

電池ホルダーを引き出し、リチウム電池 (CR2025) を図のようにセットします。



リモコンの操作可能範囲が狭くなったときは、新しい電池と交換してください。

リモコンの取り扱い上のご注意

リモコンを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障する恐れがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。

本体に直射日光が当たっていると、リモコンの操作ができないときがあります。このようなときは、本体にリモコンを近づけて操作してください。

付属の電池は、充電しないでください。

リモコンを長い間使わないときは、電池を取り出してください。取り出した電池は、幼児の手の届かないところに保管してください。

電池の液もれが起ったときは、内部についた液をよくふき取ってから、新しい電池と入れ換えてください。

不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示 (条例) に従って処理してください。

はじめに

6

本機のリセットについて

リセット

本機を初期設定状態に戻すことができます。

リセットボタンについて

リセットボタンを押すと、本機のマイコンが初期状態（ご購入直後の状態）に戻ります。次のようなときに、リセットボタンを押してください。

接続が終わった後。

本機が正しく動作しないとき。

ディスプレイが正しく表示されないとき。

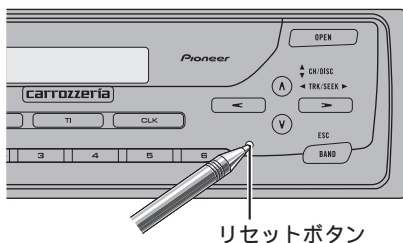
リセットボタンを押すと、本機の記憶（時計やラジオのプリセットなど）が消去されます。もう一度、セットしなおしてください。

ご注意

本機をリセットする前に、フロントパネルを開けておいてください。（MDを挿入口に差したままにしないでください。）

7 本機をリセットする

ペン先などでリセットボタンを押す



リセットボタン

メモ

フロントパネルを開けたままリセットすると、自動的にフロントパネルが閉じます。

はじめに

7

50枚型マルチCDプレーヤーの使用について

50枚型マルチCDプレーヤーをご使用になる場合のご注意

本機では、50枚型マルチCDプレーヤーの取扱説明書に記載されている50枚型マルチCDプレーヤー特有の機能を操作することはできません。本機で操作できるのは、本書に記載されている機能のみです。

はじめに

8

長時間録音されたMDの再生について

本機は、MDLPに対応しています。長時間録音されているMDも再生することができます。本機とMDLPに対応していない製品（「MD-P100II」など）を組み合わせた場合、その製品では長時間録音されているMDを再生することができません。

MDLPについて

MDLPとは、今までお使いになっているMDで、従来の録音できる時間より長く（2倍、4倍の時間）録音することができる圧縮方式です。

はじめに

聞きたいソース (音源) に切り換えることができます。

1 ソースを切り換える

SOURCE ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

1 枚型CD (別売)

テレビ (別売)

ラジオ (FM/AM)

内蔵 MD

マルチ MD (別売)

マルチ CD (別売)

External1 ¹
(エクスターナルユニット1) (別売)

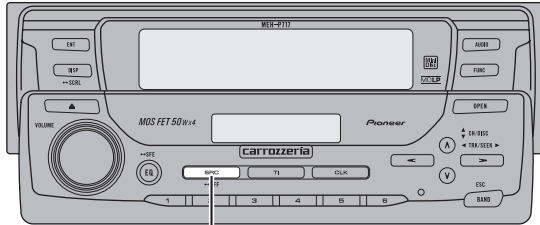
External2 ¹
(エクスターナルユニット2) (別売)

AUX (外部機器) (別売) ²

1 枚型CDに戻る

2 電源を切る

SOURCE ボタンを 1 秒以上押す
本機の電源が切れます。

ソース
SOURCE ボタン

メモ

接続していないソースには切り換わりません。MDやCDがセットされていないときは、そのソースには切り換わりません。

本機の青リード線（オートアンテナ）に車側のオートアンテナコントロール端子を接続している場合、ソースをラジオにすると車に装備されているオートアンテナがのびます。

¹External（エクスターナルユニット）とは、本機がソースとして対応していないパイオニア製品（将来発売される製品など）の基本的な機能をコントロールできるように用意している特別なソースです。本機では、2台のExternal（エクスターナルユニット）をコントロールすることができますが、External1、External2のどちらに切り換えても“External”が表示されます。2台のExternal（エクスターナルユニット）を接続した場合、本機によって、External1、External2が自動的に設定されます。

²AUX（外部機器）の設定（ その他 63 ページ）をONにしないと、AUXには切り換わりません。

テレビ、1枚型CD、マルチMDを接続したときは

操作のしかたは、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

組み合わせ例

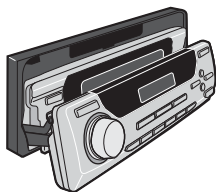
ソース	製品の型番
テレビ	「AVX-P777」
1枚型CD	「CDS-P555」
マルチMD	「MD-P100II」

上記の製品の取扱説明書では、本機以外の製品を例にして、操作説明が行われている場合があります。その製品と対応しているボタンで操作を行ってください。

ここだけの操作で、MDを聞くことができます。

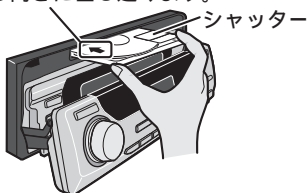
1 MD を再生する

▲ ボタンを押して、フロントパネルを開ける



MDのラベル面を上にして、MD 挿入口に差し込む

矢印の向きに差し込みます。



確認

MDのシャッターが閉まっていることを確認してから差し込んでください。

自動的にフロントパネルが元の状態に戻り、MDの再生が始まります。

MDをセットしたときや、他のソースから内蔵MDに切り換えたときなどに、ディスクタイトル、曲名を自動的に1回スクロール表示します。(※ 内蔵MD⑥ 23ページ)

2 聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻し)

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : 次の曲を選ぶとき (または早送り)
- ◀ : 前の曲を選ぶとき (または早戻し)

長時間再生表示



再生経過時間 曲番号

選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択	0.5秒未満
曲の早送り/早戻し	0.5秒以上押し 続けている間

曲を選んだときに、曲名を自動的に1回スクロール表示します。ただし、今聞いている曲の頭出しをしたときには、自動的にスクロール表示しません。

メモ

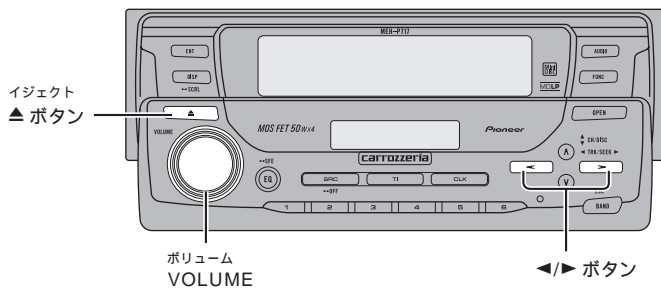
2倍長時間録音のMD再生時は、“×2”が、4倍長時間録音のMD再生時は、“×4”が表示されます。

メモ

MDをセットしたまま電源をOFFにしたり、他のソース(ラジオやマルチCDなど)に切り換えることもできます。(※ ④ 12ページ) MD挿入口には、MD以外のものを絶対に入れないでください。故障の原因となります。

MDを挿入すると、本機はMDから曲数などの情報を読みとります。この間、ディスプレイは“TOC Read”が表示されます。

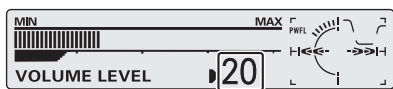
本機のフロントパネルがEJECT状態(MD挿入口が見えている状態)になっているときは、VOLUME、OPENボタン、およびリモコンのATTボタン以外の操作はできません。



3 音量を調節する

VOLUME を回して、音量を調節する

右回し：大きくするとき
左回し：小さくするとき

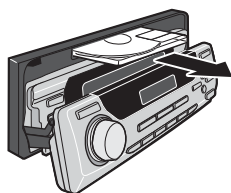


0～62の範囲で調整できます。

約4秒間、音量が表示されます。

4 MDを取り出してMD再生をやめる

▲ ボタンを押す
MDが出てきます。



出てきたMDはすぐに取り出して、保管してください。

フロントパネルを閉める (🔊 手順1)

MD挿入口にゴミやホコリが入るのを防ぐため、▲ボタン、またはOPENボタンを押して、フロントパネルをOPEN状態か、CLOSE状態にしてください。

⚠️ 注意



フロントパネルの開閉動作中は、指などを挟まないようにご注意ください。

注意

ここだけの操作で、ラジオを聞くことができます。

1 ソースを ラジオにする

SOURCE ボタンを押す

ラジオを受信します。



ステレオ放送を受信すると表示されます。

2 バンドを 選ぶ

BAND ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次のようにバンドが切り換わります。



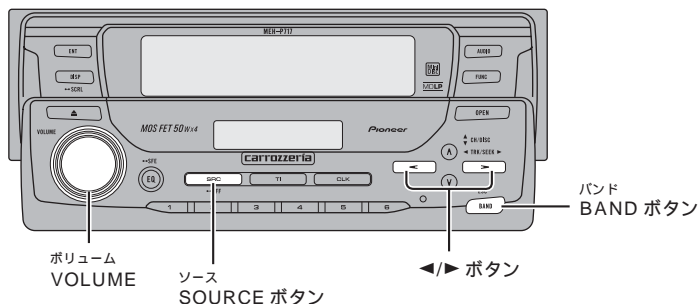
FM 1 FM 2

AM 2 AM 1

バンドごとに放送局を6局ずつ記憶できます。(ラジオ①② 24、25ページ)

バンド1とバンド2を切り換えて使うことでより多くの放送局を記憶できます。例えば、バンド1にはふだんよく聞く放送局を記憶させておきます。旅行先など、どんな放送局があるのかわからない地域に行ったときに、バンド2に切り換えてBSMを使うと、バンド1に記憶させた放送局はそのまま使いになれます。

ここだけ読めば
すぐ使えます



3 放送局を 選局する

◀または▶ ボタンを押す

▶ : 高い周波数の放送局を選局するとき

◀ : 低い周波数の放送局を選局するとき



放送局名

受信周波数

選局方法の使い分け

手動選局 (1ステップずつ) 0.5秒未満

自動選局 0.5秒以上

0.5秒以上押し続けている間、途中の放送局をとばすことができます。ボタンを離れたところから自動選局を開始します。

電波の強い放送局を選局するには、自動選局を、電波の弱い放送局を選局するには、手動選局をおすすめします。

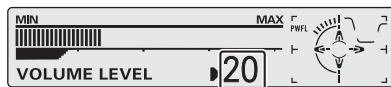
本機は、あらかじめ放送局名を記憶しています。ディスプレイに表示されている放送局名と受信している放送局名が異なるときは、受信している放送局名に変更することができます。(☞ ラジオ④ 26ページ)

4 音量を 調節する

VOLUME を回して、音量を調節する

右回し : 大きくするとき

左回し : 小さくするとき



0 ~ 62 の範囲で調整できます。

約4秒間、音量が表示されます。

5 ラジオの 受信をやめる

他のソースに切り換えるか、電源 OFF にする (☞ ここだけで① 12ページ)

ここだけの操作で、マルチCDプレーヤーでCDを聞くことができます。

1 ソースを マルチCDにする

SOURCE ボタンを押す
マルチCDの再生が始まります。



「CD TEXT」に対応しているマルチCDプレーヤー（「CDX-P670」など）に「CD TEXT」をセットしたときは、他のソースからマルチCDに切り換えたときに、ディスクタイトルおよび曲名を自動的に1回スクロール表示します。

2 聞きたいCDを 選ぶ

- ▲または▼ボタンを押す
- ▲：次のCDを選ぶとき
- ▼：前のCDを選ぶとき



CD 番号

メモ

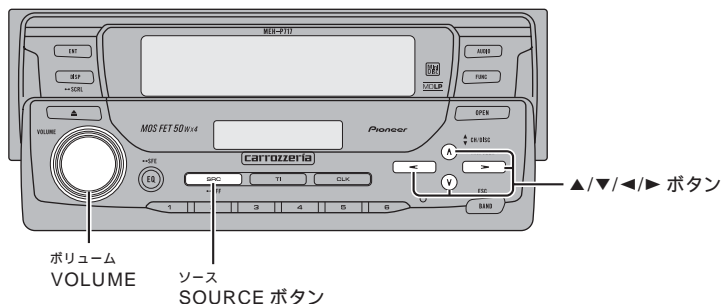
マルチCDが準備動作（CDの有無の確認やCDの情報の読み込みなど）をしている場合があります。このとき、ソースをマルチCDに切り換えると「Ready」が表示されます。

マルチCD再生中にマルチCDからマガジンを取り出すと、「NO MAGAZINE」が表示されます。

早送り/早戻しをする 音量を調節する

ディスクサーチ / トラックサーチ / 早送り/早戻し / 音量調節

ここだけ読めば
すぐ使えます



3 聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻し)

◀または▶ ボタンを押す

▶ : 次の曲を選ぶとき (または早送り)

◀ : 前の曲を選ぶとき (または早戻し)



再生経過時間 曲番号

選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択	0.5秒未満
曲の早送り/早戻し	0.5秒以上押し 続けている間

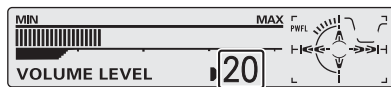
「CD TEXT」に対応しているマルチCDプレーヤー (「CDX-P670」など) に「CD TEXT」をセットしたときは、曲を選んだときに、曲名を自動的に1回スクロール表示します。ただし、今聞いている曲の頭出しをしたときは、表示しません。

4 音量を調節する

VOLUME を回して、音量を調節する

右回し : 大きくするとき

左回し : 小さくするとき

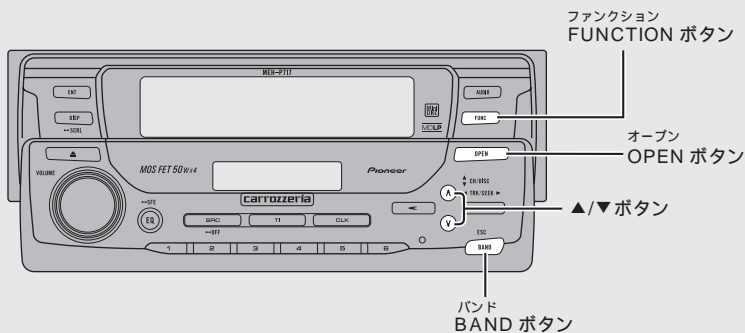


0 ~ 62 の範囲で調整できます。

約4秒間、音量が表示されます。

5 マルチCD再生をやめる

他のソースに切り換えるか、電源OFFにする (☞ ここだけで① 12ページ)



内蔵MD
1

モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

ファンクションモードの切り換え

1 フロントパネルを開ける

OPEN ボタンを押す

2 ファンクションモードを切り換える

FUNCTION ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

リピートモード (☞ 内蔵 MD ②)

ランダムモード (☞ 内蔵 MD ③)

スキャンモード (☞ 内蔵 MD ④)

ポーズモード (☞ 内蔵 MD ⑤ 22 ページ)

リピートモードに戻る

メモ

ファンクションモードを解除するには、BAND ボタンを押します。(約 30 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

本機のフロントパネルがCLOSE 状態のときに、リモコンのFUNCTION ボタンを押すと、本機のフロントパネルは自動的に開きます。

内蔵MD
2

同じ曲を繰り返し聞く

トラックリピート再生

今聞いている曲を繰り返し聞くことができます。

1 リピートモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ
(☞ 内蔵 MD ①)



2 リピート再生を ON にする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンで OFF)



今聞いている曲を繰り返し再生します。

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。




リピート再生中に表示されます。

いつもと違う曲順で聞く

ランダム再生

選曲を MD プレーヤーにまかせて、いつもと違う曲順 (ランダム) で再生することができます。

1 ランダムモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ
( 内蔵 MD ①)



2 ランダム再生を ON にする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンで OFF)



次の曲から、ランダムに選曲します。

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。




ランダム再生中に表示されます。

聞きたい曲をさがす

スキャン再生

曲の始めの部分だけを、約 10 秒間ずつ次々に聞くことができます。

1 スキャンモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ
( 内蔵 MD ①)



2 スキャン再生を始める

▲ ボタンを押す



曲の始めの約 10 秒間が次々に再生されます。

スキャン再生を始めて約 30 秒たつと、自動的にファンクションモードが解除されます。



スキャン再生中に表示されます。

3 聞きたい曲が再生されたら スキャン再生を OFF にする

確認

ファンクションモードが解除されていたら、手順 1 の操作を行ってもう一度スキャンモードにしてから、スキャン再生を OFF にしてください。

スキャンモードのときに ▼ ボタンを押す



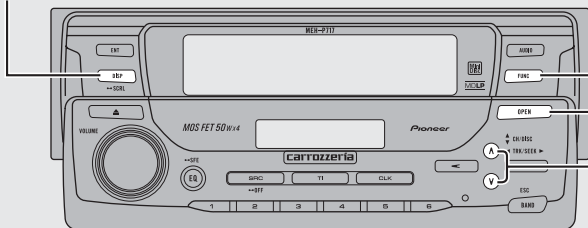
BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

スキャン再生を始めた曲まで戻るとスキャン再生は解除されます。

ディスプレイ
DISPLAY ボタン

ファンクション
FUNCTION ボタン



オープン
OPEN ボタン

▲/▼ボタン

内蔵MD
5

MD再生を一時停止する

ポーズ

MD再生を一時停止することができます。

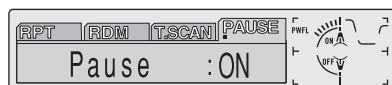
1 ポーズモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ
(内蔵MD 18 ページ)



2 MD再生を一時停止する

▲ ボタンを押す (▼ ボタンで再生)



BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



一時停止中に表示されます。

MD のタイトルを表示させる

タイトル表示 / タイトルスクロール

再生経過時間の表示以外に、ディスク名や曲名を表示させることができます。ディスク名や曲名は一度に全角で 8 文字、半角で 16 文字表示することができます。また、隠れている文字を順に表示させることもできます。

タイトル表示について

本機はカナやアルファベットなどの表示だけでなく、ひらがなや漢字などの表示にも対応しています。MD に漢字などの文字情報が収録されている場合でも、本機ではそのまま表示することができます。

表示をディスク名または曲名に切り換えたときに、隠れているタイトルを自動的に 1 回スクロール表示します。

ディスク名が入力されていない場合は、ディスク名表示が “NO Disc Title” になります。曲名が入力されていない場合は、曲名表示が “NO Track Title” になります。

本機では、MD の録音方法に関わらずトラックタイトルの先頭の「LP:」を表示しません。(長時間録音されたトラックタイトルの先頭には、「LP:」があらかじめ入力されている場合があります。)

本機は、MD のグループ機能に対応していません。グループ登録された MD を再生すると、ディスクタイトルは、グループ名などを含めた状態で表示されます。

1 フロントパネルを開ける

OPEN ボタンを押す

表示切り換え

1 表示を切り換える

DISPLAY ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

再生経過時間表示

ディスクタイトル (Disc Title)

トラックタイトル (Track Title)

再生経過時間表示に戻る

例) ディスクタイトル表示



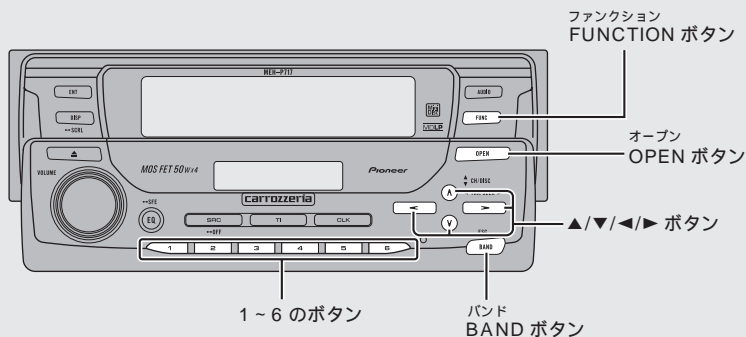
隠れているタイトルを表示する

1 隠れているタイトルを表示する

DISPLAY ボタンを 2 秒以上押す



隠れている文字が順番に表示されていきます。



ラジオ
1

複数の放送局を自動的に記憶させる

BSM

受信状態の良い放送局をさがして、自動的に1～6のボタンに記憶させることができます。

1 記憶させるバンドを選ぶ

BAND ボタンを押す
(ここだけで④16ページ)

記憶が終わると点滅が止まり、1のボタンに記憶した放送局を受信します。

BAND ボタンを押して、BSMモードを解除してください。

2 フロントパネルを開ける

OPEN ボタンを押す

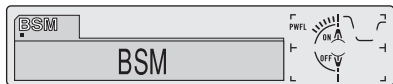
受信中の記憶番号 受信周波数



放送局名

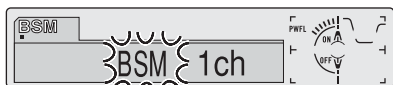
3 BSMモードにする

FUNCTION ボタンを押す



4 BSMを始める

▲ ボタンを押す (▼ ボタンで途中解除)



記憶動作中に点滅します。

メモ

受信状態の良い放送局が、6局より少ないときは、前の記憶が残ることがあります。

BSMとは、Best Stations Memory (ベストステーションズメモリー)の略です。

記憶させた放送局を呼び出すには (ラジオ④)

BSMモードは、約30秒間何も操作しないと、自動的に解除されます。

放送局を1局ずつ記憶させる

プリセットメモリー

1～6のボタンに、お好みの放送局を、1局ずつ手動で記憶させることができます。

1 記憶させるバンドを選ぶ

BAND ボタンを押す
( ここだけで③ 16ページ)

2 記憶させたい放送局を選局する

◀または▶ ボタンを押す
( ここだけで③ 17ページ)

3 記憶させる

1～6のボタンの1つを2秒以上押す



押したボタンの番号(記憶番号)が点滅します。



記憶が終わると点滅が終わり、押したボタンに受信中の放送局が記憶されます。

メモ

記憶させた放送局を呼び出すには ( ラジオ④)

記憶させた放送局を呼び出す

プリセットチューニング

記憶させた放送局は、簡単に呼び出すことができます。

1 記憶させたバンドを選ぶ

BAND ボタンを押す
( ここだけで③ 16ページ)

2 記憶させた放送局を呼び出す

記憶させた放送局を直接呼び出す
1～6のボタンの1つを押す

記憶させた放送局を順番に呼び出す

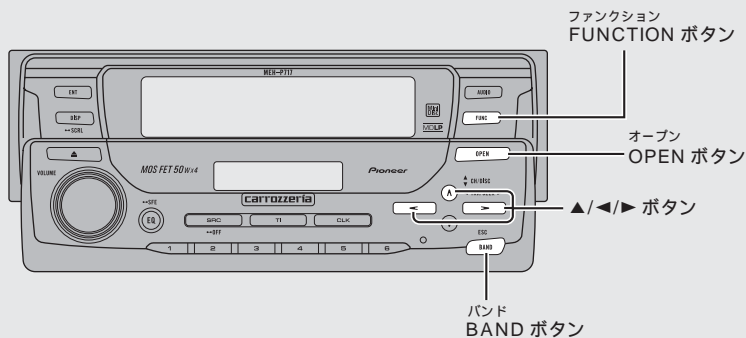
▲または▼ ボタンを押す

▲：次の記憶番号の放送局を呼び出すとき

▼：前の記憶番号の放送局を呼び出すとき



受信中の記憶番号

ラジオ
4

放送局名を選ぶ

放送局名選択

受信している放送局に合わせて、表示する放送局名を選ぶことができます。

放送局名について

同じ周波数でも、地域によって受信する放送局は違うことがあります。(例: FM 80.0MHz を使用している放送局は「TOKYO FM」「FM 青森」「FM 岐阜」「FM 福岡」「FM 愛媛」など複数あります。)

本機には、あらかじめ放送局名が記憶されています。ディスプレイに表示されている放送局名が受信している放送局名と異なるような場合は、放送局名を変更して表示することができます。

1 バンドを選ぶ

BAND ボタンを押す
(ここだけで④ 16 ページ)

2 変更したい放送局を選択する

◀または▶ ボタンを押す
(ここだけで④ 17 ページ)

3 フロントパネルを開ける

OPEN ボタンを押す

4 放送局名選択モードにする

FUNCTION ボタンを 2 秒以上押す



5 放送局名を選ぶ

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : 次の放送局名を選ぶとき
- ◀ : 前の放送局名を選ぶとき



受信中の周波数に該当する放送局名が点滅します。

ご注意

本機に登録されていない放送局名は選べません。

6 放送局名を変更する

▲ ボタンを押す



BAND ボタンを押して、放送局名選択モードを解除してください。

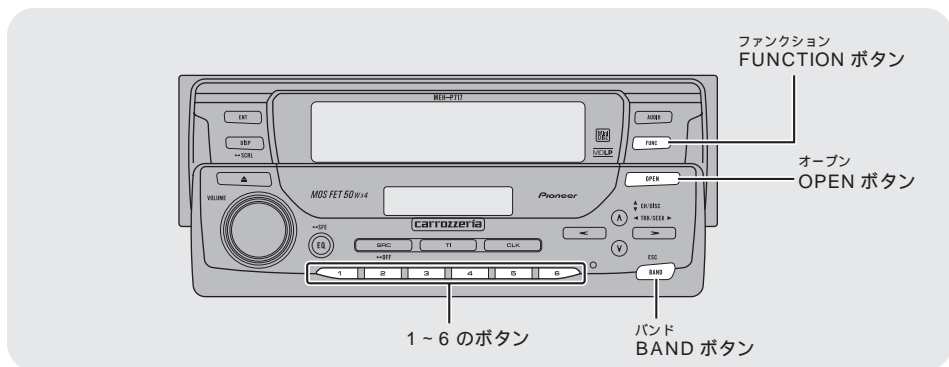
メモ

選んだ周波数に該当する放送局名が登録されていないと、“NO Data”と表示されます。

放送局名を表示させたくないときは、“-----” (全て空白)を選んでください。

パイオニア製のFMモジュレータータイプのマルチCD (「CDX-FM675 など」)をお使いの方は、モジュレーター周波数に合わせると、放送局名を“FM M-CD”に変更して表示することができます。

パイオニア製のTVをFMモジュレータでお使いの方は、モジュレーター周波数に合わせると、放送局名を“TV sound”に変更して表示することができます。



マルチCD
1

聞きたいCDを直接選ぶ

ダイレクトサーチ

聞きたいCDにワンタッチで切り換えることができます。

1 聞きたいCDを選ぶ

1 ~ 6 のボタンを押す

2秒未満：1 ~ 6枚目のCDを選ぶとき

2秒以上：7 ~ 12枚目のCDを選ぶとき



CD 番号

モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

ファンクションモードの切り換え

1 フロントパネルを開ける

OPEN ボタンを押す

2 ファンクションモードを切り換える

FUNCTION ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

リピートモード (☞ マルチ CD ③ 30 ページ)

タイトルリストモード
(☞ マルチ CD ⑧ 40 ページ)

ランダムモード (☞ マルチ CD ⑨ 32 ページ)

スキャンモード (☞ マルチ CD ④ 31 ページ)

ITS 再生モード (☞ マルチ CD ⑦ 34 ページ)

ポーズモード (☞ マルチ CD ⑭ 41 ページ)

COMP 切り換えモード
(☞ マルチ CD ⑮ 42 ページ)

リピートモードに戻る

メモ

ファンクションモードを解除するには、BAND ボタンを押します。(約 30 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

詳細設定モードの切り換え

1 フロントパネルを開ける

OPEN ボタンを押す

2 詳細設定モードにする

FUNCTION ボタンを 2 秒以上押す

3 詳細設定モードを切り換える

FUNCTION ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

タイトル入力モード
(☞ マルチ CD ⑩ 36 ページ)

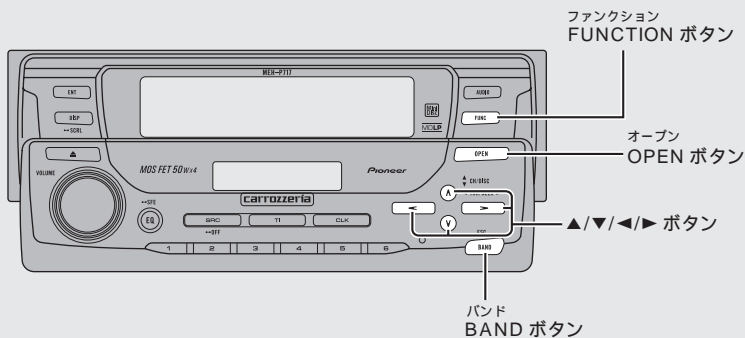
ITS 入力モード (☞ マルチ CD ⑥ 33 ページ)

タイトル入力モードに戻る

メモ

詳細設定モードを解除するには、BAND ボタンを押します。

「CD TEXT」に対応しているマルチ CD (「CDX-P670」など) で「CD TEXT」を再生しているときは、タイトル入力モードに切り換わりません。(「CD TEXT」にあらかじめ収録されているタイトルは変更できません。)



マルチCD
3

同じ曲やCDを繰り返し聞く

リピート再生

今聞いている曲を繰り返し聞いたり、1枚のCDを繰り返し聞くなど、繰り返し再生する範囲を選ぶことができます。

再生範囲について

再生範囲（繰り返し聞く範囲）は、次の中から選ぶことができます。

再生範囲	リピート再生の内容
トラックリピート	再生中の曲を繰り返し再生します。
ディスクリピート	再生中のCDを繰り返し再生します。
マルチCDリピート	マルチCDにセットされているすべてのCDを通して再生します。(通常はこのモードにしておきます。)

2 再生範囲を切り換える

◀または▶ ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



TRK (トラックリピート)

DISC (ディスクリピート)

MCD (マルチCDリピート)

TRKに戻る

1 リピートモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ
(マルチCD ② 29ページ)



BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



トラックリピートのときは“REPEAT”、ディスクリピートのときは“D.REPEAT”が表示されます。

聞きたい曲やCDをさがす

スキャン再生

今聞いているCDの、曲の始めの部分だけを、約10秒間ずつ次々に聞くことができます。また、すべてのCDの、1曲目の始めの部分だけを次々に聞くこともできます。

1 リpeatモードにして 再生範囲を選ぶ (☞ マルチCD③)

聞きたい曲をさがすとき
(トラックスキャン再生)

◀または▶ ボタンを押してディスク
リピートにする

再生中のCDの全曲を、約10秒ずつ再生で
きます。

聞きたいCDをさがすとき
(ディスクスキャン再生)

◀または▶ ボタンを押してマルチCD
リピートにする

マルチCDのマガジン内すべてのCDの1曲
目だけを、約10秒ずつ再生できます。

2 スキャンモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ
(☞ マルチCD② 29ページ)



3 スキャン再生を始める

▲ ボタンを押す



曲の始めの約10秒間が次々に再生されます。

スキャン再生を始めて約30秒たつと、自動
的にファンクションモードが解除されます。



スキャン再生中に表示されます。

表示	再生範囲
T.SCAN	ディスクリピート
D.SCAN	マルチCDリピート

4 聞きたい曲 (CD) が再生されたら スキャン再生をOFFにする

確認

ファンクションモードが解除されていたら、手順
2の操作を行ってもう一度スキャンモードにして
から、スキャン再生をOFFにしてください。

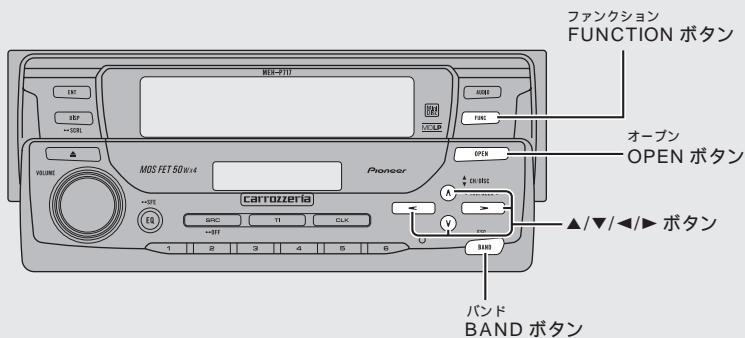
スキャンモードのときに▼ボタンを押す



BAND ボタンを押して、ファンクションモード
を解除してください。

メモ

スキャン再生を始めた曲 (またはCD) まで戻ると、
スキャン再生は解除されます。
トラックリピートのときに、スキャン再生をONに
すると、再生範囲がディスクリピートに切り換わ
り、スキャン再生します。



マルチCD 5 いつもと違う曲順で聞く

ランダム再生

選曲をマルチCDにまかせて、いつもと違う曲順 (ランダム) で再生することができます。

1 リピートモードにして再生範囲を選ぶ (☞ マルチCD ③ 30 ページ)

選んだ再生範囲内でランダム再生が行われます。

2 ランダムモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ
(☞ マルチCD ② 29 ページ)



3 ランダム再生を ON にする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンで OFF)



次の曲から、ランダムに選曲します。

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



ランダム再生中に表示されます。

表示	再生範囲
D.RANDOM	ディスクリピート
RANDOM	マルチCDリピート

メモ

トラックリピートのときに、ランダム再生を ON にすると、再生範囲がディスクリピートに切り換わり、ランダム再生します。

聞きたい曲だけ記憶させておく

ITS 記憶

記憶させた曲だけ再生する (☞ マルチCD ⑦ 34 ページ) ために、あらかじめ聞きたい曲をマルチCDに記憶させておきます。

ITS について

ITSとは、Instant Track Selection (インスタントトラック セレクション) の略です。

ITSは、聞きたい曲だけを記憶させておき、それを再生する (☞ マルチCD ⑦ 34 ページ) 機能です。

曲の記憶はCDごとに行われます。CDを入れ換えても、そのCDの記憶は消えません。

CD1枚につき99曲まで記憶することができます。(「CDX-P1250」「CDX-P650」以前に発売されたマルチCDでは、記憶できる曲が24曲までになります。)

ITSは、タイトル (☞ マルチCD ⑩ 36 ページ) と合わせてCD100枚分の記憶ができます。

100枚を超えたときは、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

1 記憶させたいCDを再生する

▲または▼ボタンを押す

(☞ ここだけで④ 18 ページ)

2 ITS入力モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ (☞ マルチCD ② 29 ページ)



3 記憶させたい曲を選ぶ

◀または▶ボタンを押す

(☞ ここだけで④ 19 ページ)

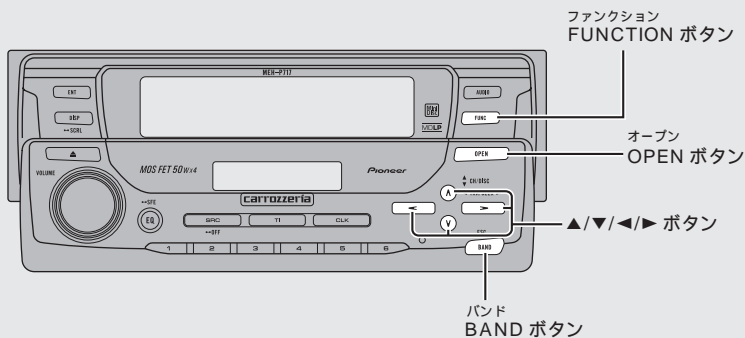
4 記憶させる

▲ボタンを押す



約2秒間表示され、記憶したことを知らせます。

BAND ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。



マルチCD 7 記憶させた曲だけ再生する

ITS再生

ITS記憶 (☞ マルチCD ⑥ 33ページ) で記憶させた曲だけを再生することができます。

1 リピートモードにして再生範囲を選ぶ (☞ マルチCD ⑥ 30ページ)

選んだ再生範囲内でITS再生が行われます。

2 ITS再生モードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(☞ マルチCD ② 29ページ)



3 ITS再生をONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



ITS再生が始まり、記憶させた曲だけが再生されます。

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



ITS再生中に表示されます。

メモ

手順1で選んだ再生範囲内に、記憶させた曲がない場合は、“ITS Empty” が約2秒間表示されて、ITS再生は行われません。

記憶させた曲を1曲ずつ記憶から消す

ITS 消去 (1曲ごと)


記憶させた曲を1曲ずつ消すことができます。

1 ITS再生をONにする (マルチ CD ⑦)

2 消去したい曲を再生する

◀または▶ ボタンを押す
( ここだけで④ 19ページ)

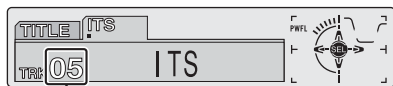
3 ITS入力モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ ( マルチ CD ② 29ページ)



4 消去する

▼ ボタンを押す



次に記憶されている曲

再生していた曲が記憶から消去され、次に記憶されている曲が再生されます。

BAND ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

メモ

現在の再生範囲内に記憶させた曲がなくなった場合は、“ITS Empty” が約2秒間表示されて、ITS再生がOFFになります。


記憶させた曲をCDごとに記憶から消す

ITS 消去 (CDごと)


記憶させた曲をCDごとに消すことができます。

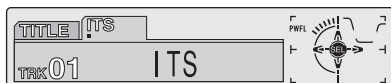
1 消去したいCDを再生する

▲または▼ ボタンを押す
( ここだけで④ 18ページ)

ITS再生がONになっているときは、ITS再生をOFFにしてください。 ( マルチ CD ⑦)

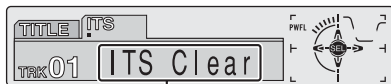
2 ITS入力モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ ( マルチ CD ② 29ページ)



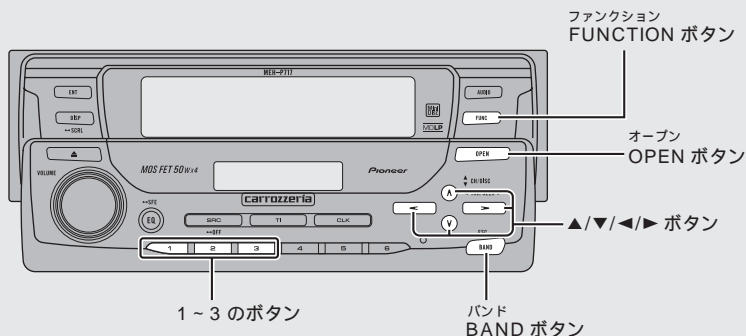
3 消去する

▼ ボタンを押す



約2秒間表示され、消去されたことを知らせます。

BAND ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。



マルチCD 10 CDのタイトルを記憶させる

タイトル入力

CDのタイトルを表示させる (☞ マルチCD ① 38ページ) ために、あらかじめタイトルを入力して記憶させておきます。

タイトル入力について

タイトル入力は、CDのタイトルを入力して記憶させておき、ディスプレイに表示させる機能です。

CDにタイトルをつけるとタイトルリスト (☞ マルチCD ④ 40ページ) で聞きたいCDをさがすこともできます。

「CD TEXT」に対応しているマルチCD (「CDX-P670」など) では、「CD TEXT」にあらかじめ収録されているCDタイトルで同様にタイトルリスト (☞ マルチCD ④ 40ページ) をすることができます。

タイトルは10文字まで入力できます。

記憶はCDごとに行われます。CDを入れ換えても、そのCDの記憶は消えません。

タイトルは、ITS (☞ マルチCD ⑥ 33ページ) と合わせてCD100枚分の記憶ができます。

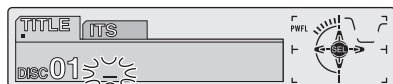
100枚を超えたときは、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

1 タイトルを入力したいCDを再生する

▲または▼ボタンを押す
(☞ ここだけで④ 18ページ)

2 タイトル入力モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ (☞ マルチCD ② 29ページ)



ご注意

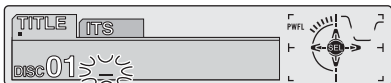
「CD TEXT」に対応しているマルチCD (「CDX-P670」など) に「CD TEXT」をセットしているときは、タイトル入力モードには切り換わりません。(「CD TEXT」に収録されているCDタイトルは変更できません。)

3 タイトルを入力する

入力する位置を選ぶ

◀または▶ ボタンを押して入力したい位置にカーソルを移動させる

- ▶ : 右に移動させるとき
- ◀ : 左に移動させるとき

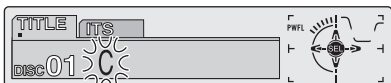


入力する位置でカーソルが点滅します。
10文字まで入力できます。

入力する文字を選ぶ

▲または▼ボタンを押す

- ▲ : 次の文字を選ぶとき
- ▼ : 前の文字を選ぶとき



選んだ文字が点滅します。

押すボタン	選べる文字
1ボタン (1ボタンを押すごとに切り換わります。)	アルファベットの小文字 (a ~ z)、空白 (_) アルファベットの大文字 (A ~ Z)、数字 (0 ~ 9) 記号 (! " # など) 空白 (_)
2ボタン	数字 (0 ~ 9) 記号 (! " # など) 空白 (_)
3ボタン (3ボタンを押すごとに切り換わります。)	カタカナ (ア ~ ン) 音引き (-) 空白 (_) 拗促音、濁点、半濁点 (アイウエオヤユヨツ 。) 空白 (_)

4 入力が終わったら 10文字目を点滅させる



余ったところを空白にして、10文字目を点滅させます。

5 入力したタイトルを記憶する

▶ ボタンを押す



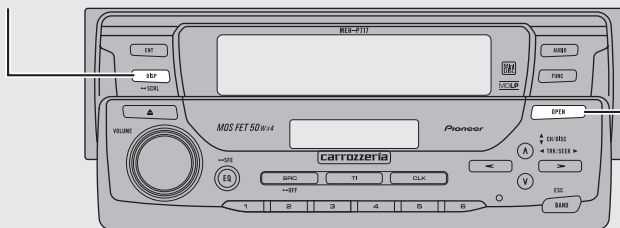
入力位置の点滅が終わり、入力したタイトルが記憶されます。

BAND ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

メモ

タイトル入力中 (文字が点滅しているとき) にBAND ボタンを押すと、詳細設定モードが途中で解除されます。(この場合、入力中のタイトルは記憶されません。)

ディスプレイ
DISPLAY ボタン



オープン
OPEN ボタン

マルチCD
11

CDのタイトルを 表示させる

ディスクタイトル表示

タイトル入力 (P.36 マルチCD 36 ページ) で
入力したCDのタイトルを表示させることが
できます。

1 フロントパネルを開ける

OPEN ボタンを押す

2 表示を切り換える

DISPLAY ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

再生経過時間表示

ディスクタイトル (Disc Title)

再生経過時間表示に戻る

例) ディスクタイトル表示



メモ

タイトルが入力されていないCDで表示を切り換え
ると、「NO Title」が表示されます。

マルチCD
12

「CD TEXT」のタイト ルや歌手名を表示させる

タイトル表示 / タイトルスクロール

「CD TEXT」に対応しているマルチCD
(「CDX-P670」など)に「CD TEXT」をセッ
トしたとき、ディスクタイトル(ディスク名)
ディスクアーティスト(歌手名)などを表示さ
せることができます。一度に全角で8文字、半
角で16文字表示することができます。また、隠
れている文字も順に表示させることができます。

チェック 「CD TEXT」に対応しているマルチCD
(「CDX-P670」など)の機能です。

「CD TEXT」について

「CD TEXT」とは、CDのタイトル/歌手名/
曲名などの文字情報が収録されたCDです。
ディスクタイトル面に下記マークのついて
いるCDは、「CD TEXT」です。(下記マークが
付いていない「CD TEXT」もあります。)



タイトル表示について

本機はカナやアルファベットなどの表示だ
けでなく、ひらがなや漢字などの表示に
も対応しています。「CD TEXT」に漢字な
どの文字情報が収録されている場合でも、
本機ではそのまま表示することができます。

表示を Disc Title (ディスク名)、Track
Title (曲名)などに切り換えたときに、自
動的に1回スクロール表示します。

表示切り換え

1 フロントパネルを開ける

OPEN ボタンを押す

2 表示を切り換える

DISPLAY ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

再生経過時間表示

ディスクタイトル
(Disc Title)

ディスクアーティストネーム
(DiscArtist Name)

トラックタイトル
(Track Title)

トラックアーティストネーム
(TrackArtist Name)

再生経過時間表示に戻る

例) ディスクタイトル表示



「CD TEXT」再生中に表示されます。

再生中の「CD TEXT」に収録されているディスクタイトルが表示されます。

メモ

トラックアーティストネーム(歌手名)などが収録されていないCDで表示を切り換えると、「NO T-Artist Name」などが表示されます。

隠れている文字を表示する

1 フロントパネルを開ける

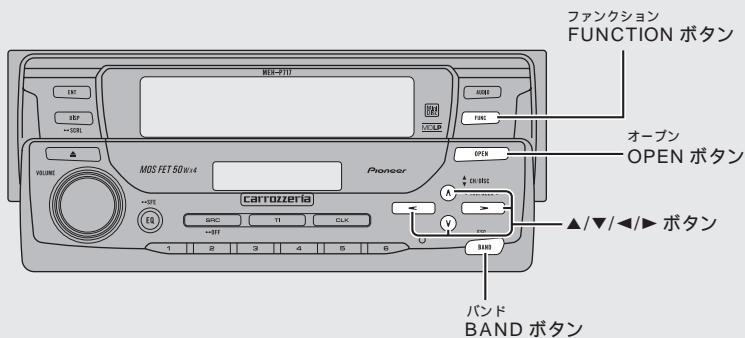
OPEN ボタンを押す

2 隠れているタイトルを表示する

DISPLAY ボタンを 2 秒以上押す



隠れている文字が順に表示されていきます。



マルチCD
13

タイトルを見て聞きたいCDをさがす

タイトルリスト

CDのタイトルを見ながら、聞きたいCDを選ぶことができます。

1 タイトルリストモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ
(☞ マルチCD 29 ページ)



2 聞きたいCDを選ぶ

◀ または ▶ ボタンを押す

- ▶ : 次のCDのタイトルを表示させるとき
- ◀ : 前のCDのタイトルを表示させるとき



記憶されているタイトルが表示されます。
また、そのCDのCD番号が点滅します。

3 選んだCDを再生する

▲ ボタンを押す



選んだCDが再生されます。

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

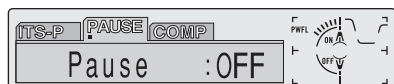
タイトルが入力されていないCDで表示を切り換えると、「NO Title」が表示されます。

CD再生を一時停止することができます。

1 ポーズモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ

( マルチCD ② 29 ページ)



2 CD再生を一時停止する

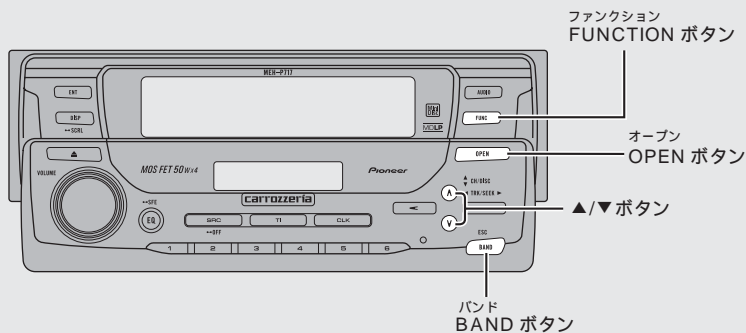
▲ ボタンを押す (▼ ボタンで再生)



BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



一時停止中に表示されます。



マルチCD 15 CDの音質を調整する

COMP / DBE

大きな音と小さな音の音量差を小さくしたり、低音域を押し上げたりすることができます。

チェック COMP/DBE 機能の付いたマルチCDプレーヤーで操作できます。

COMP について

COMPとは、Compression (コンプレッション) の略です。大きな音を抑え、小さな音を押し上げて、大きな音と小さな音の音量差を小さくする機能です。この機能は、小さな音が聞きとりにくいようなときにお使いになると便利です。

DBE について

DBEとは、Dynamic Bass Emphasis (ダイナミックバスエンファシス) の略です。DBEは、車内で不足しがちな低音域を押し上げる機能です。

1 COMP 切り換えモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(マルチCD ② 27 ページ)



現在のCOMP/DBEの状態が表示されます。

ご注意

COMP/DBE 機能のないマルチCDを組み合わせたときは、“No Comp.”が表示されて、操作ができません。

2 機能を選ぶ

▲または▼ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

Comp. OFF

Comp. 1 (コンプレッション 1)

Comp. 2 (コンプレッション 2)

Comp. OFF

DBE 1

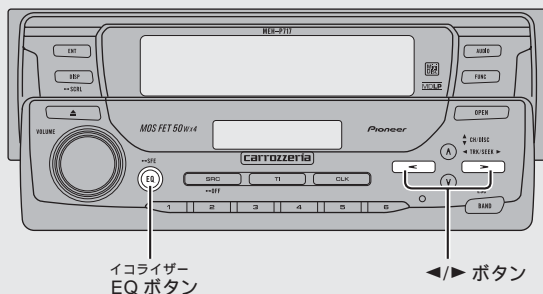
DBE 2

最初のComp. OFFに戻る

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

COMP、DBEともに1より2の方が効果が大きくなります。



音の調節

1

お好みの音の空間に設定する

SFE

ボーカルや楽器などの音像を明確にし、自然で心地よい音の空間を手軽に演出することができます。さらに乗車位置を選択することで、よりお好みにあった設定にすることができます。

SFE について

FRT1は、フロント出力の高音域と、リア出力の低音域を押し上げます。

FRT2は、フロント出力の高音域・低音域と、リア出力の低音域を押し上げます。(低音域の押し上げは、フロント/リア共通です。)

1 SFE モードを切り換える

EQ ボタンを 2 秒以上押してから、EQ ボタンを押して選ぶ



ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

FRT1-H	FRT1-L
SFE OFF	FRT2-H
CUSTOM	FRT2-L

2 乗車位置を切り換える

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : 右に移動させるとき
- ◀ : 左に移動させるとき



LEFT (左)、CENTER (中央)、RIGHT (右) の中から選ぶことができます。

メモ

SFEとはSound Focus Enhancer (サウンドフォーカスエンハンサー)の略です。

FRT1、FRT2ともに、“L”より“H”の方が効果が大きくなります。

“CUSTOM”には、低音、高音をお好みに合わせて調節したSFEモードが記憶されます。(音の調節 7⑧ 50、51ページ)

SFEモードを切り換えると、ハイパスフィルターは自動的にOFFになります。

SFEモードとハイパスフィルターを組み合わせで設定するときは、SFEモードを切り換えてから、ハイパスフィルターを設定してください。

イコライザーカーブを選ぶ

あらかじめ用意されたイコライザーカーブの中からお好みのイコライザーカーブを選ぶことができます。

CUSTOM1 について

“CUSTOM1”には、お好みに合わせて調節したイコライザーカーブがソースごとに記憶されます。(内蔵MDとマルチMD、1枚型CDとマルチCD、およびExternal1とExternal2は、同じ設定になります。)

“CUSTOM2”以外のカーブを選んでいるときに調節すると、“CUSTOM1”に記憶されます。

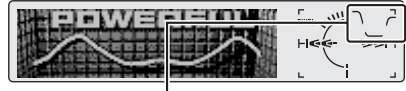
CUSTOM2 について

“CUSTOM2”は、すべてのソースに共通したイコライザーカーブで、お好みに合わせて調節することができます。

“CUSTOM2”を選んでいるときに調節すると、調節したカーブが新しい“CUSTOM2”として記憶されます。

1 イコライザーカーブを切り換える

EQ ボタンを押す



選んだイコライザーカーブが表示されます。

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

POWERFUL NATURAL

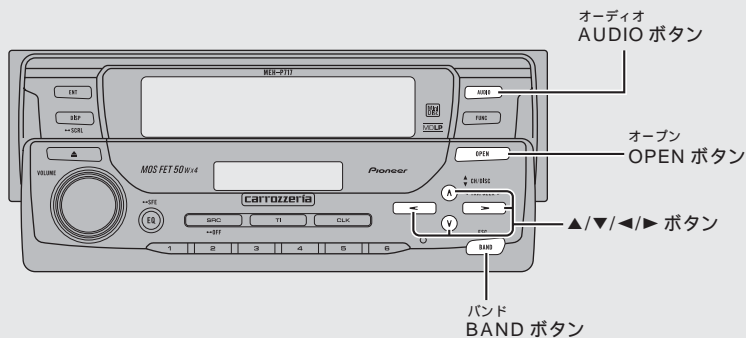
SUPER BASS VOCAL

FLAT CUSTOM1
(音の調節 ⑤ 48 ページ)

CUSTOM2 (音の調節 ⑤ 48 ページ)

メモ

交通情報 (その他 ④ 61 ページ) を受信しているときは、イコライザー調節モードには切り換わりません。

音の調節
3

オーディオ調節モードの切り換えかた

音を調節するときは、オーディオ調節モードを切り換えて操作します。

1 フロントパネルを開ける

OPEN ボタンを押す

2 オーディオ調節モードを切り換える

AUDIO ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

音量バランス調節モード (音の調節④)

イコライザー調節モード (音の調節⑤ 48ページ)

低音調節モード (音の調節⑦ 50ページ)

高音調節モード (音の調節⑧ 51ページ)

ラウドネスモード* (音の調節⑨ 51ページ)

サブウーファーモード

(音の調節⑪ 54ページ)¹
/ ノンフェーディングモード
(音の調節⑫ 56ページ)²

サブウーファー調節モード

(音の調節⑪ 54ページ)¹
/ ノンフェーディング調節モード
(音の調節⑫ 56ページ)²

ハイパスフィルターモード
(音の調節⑬ 57ページ)

SLA モード (音の調節⑭ 58ページ)³

ASL モード (音の調節⑮ 59ページ)

音量バランス調節モードに戻る

メモ

オーディオ調節モードを解除するには、BAND ボタンを押します。(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

- 1 サブウーファーモードは、サブウーファーコントロールの設定を“S.W Control:EXT”以外にしているときだけ切り換わります。また、サブウーファーモードをONにしているときだけ、サブウーファー調節モードに切り換わります。
- 2 ノンフェーディングモードは、サブウーファーコントロールの設定を“S.W Control:EXT”にしているときだけ切り換わります。また、ノンフェーディングモードをONにしているときだけ、ノンフェーディング調節モードに切り換わります。
- 3 ラジオのFMを聞いているときは、SLAモードには切り換わりません。

前後左右の音量 バランスを調節する

フェーダー/バランス

前後左右のスピーカーの音量バランスを調節することができます。

1 音量バランス調節 モードにする

AUDIO ボタンを押して選ぶ

( 音の調節 ③)



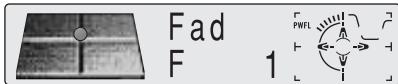
2 音量バランスを調節する

前後を調節する

▲ または ▼ ボタンを押す

▲ : 前を強めるとき

▼ : 後ろを強めるとき



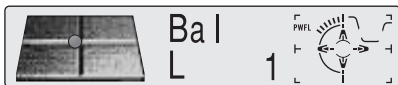
前後のバランスはF15 ~ R15の範囲で調節できます。

左右を調節する

◀ または ▶ ボタンを押す

▶ : 右を強めるとき


◀ : 左を強めるとき

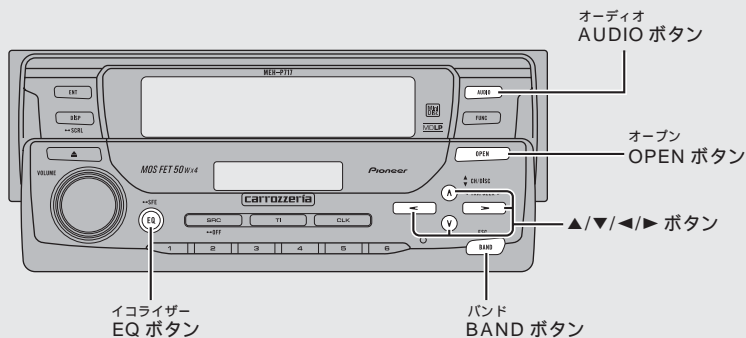


左右のバランスはL9 ~ R9の範囲で調節できます。

BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

メモ

リア出力の設定 ( その他 ⑩ 66 ページ) を "Rear SP :S.W" にしたときは、前後の音量バランスを調節することはできません。



音の調節

5

お好みに合わせてイコライザーカーブを調節する

あらかじめ用意されたイコライザーカーブを調節することで、お好みの音質をつくるができます。

1 調節したいイコライザーカーブに切り換える

EQ ボタンを押して選ぶ
(EQ 音の調節② 45 ページ)

2 イコライザー調節モードにする

AUDIO ボタンを押して選ぶ
(EQ 音の調節③ 46 ページ)



3 調節したいバンドを選んでレベルを調節する

バンドを選ぶ

◀または▶ ボタンを押す



Low (低音) Mid (中音) High (高音) の中から選ぶことができます。

レベルを調節する

▲または▼ ボタンを押す

▲ : 強めるとき

▼ : 弱めるとき



- 6 ~ + 6 の範囲で調節できます。

イコライザーカーブを調節すると表示されます。

BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

メモ

“CUSTOM2” 以外のカーブを選んでおくと調節すると、“CUSTOM1” に記憶されます。また、イコライザーカーブ表示は、調節時に選んだカーブが表示されます。

交通情報 (EQ ③ 61 ページ) を受信しているときは、イコライザー調節モードには切り換わりません。

イコライザーカーブを細かく調節する

イコライザーカーブには3つのバンドがあり、バンドごとに中心周波数とQファクターを調節することができます。

1 イコライザーカーブ詳細設定モードにする

AUDIO ボタンを2秒以上押す



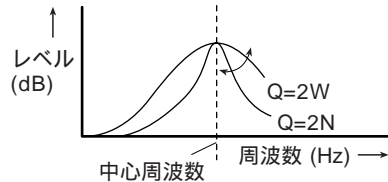
中心周波数を選ぶ

◀または▶ ボタンを押す



選んだ周波数が表示されます。

選んだバンドのQファクター（イコライザーカーブの傾き）を選ぶ



2 バンドを選んで中心周波数とQファクターを調節する

バンドを選ぶ

AUDIO ボタンを押す

ボタンを押すごとにLow、Mid、Highが切り換わります。



表示 (中心周波数 [Hz])	選ばれているバンド
40、80、100、160のいずれか	Low
200、500、1k、2kのいずれか	Mid
3.15k、8k、10k、12.5kのいずれか	High

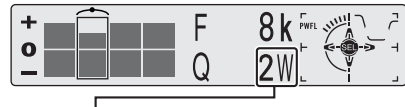
メモ

Qファクター（イコライザーカーブの傾き）は、2Nが最も急な傾きになり、1N、1W、2Wの順で傾きがゆるやかになります。

▲または▼ ボタンを押す

▲：強めるとき

▼：弱めるとき

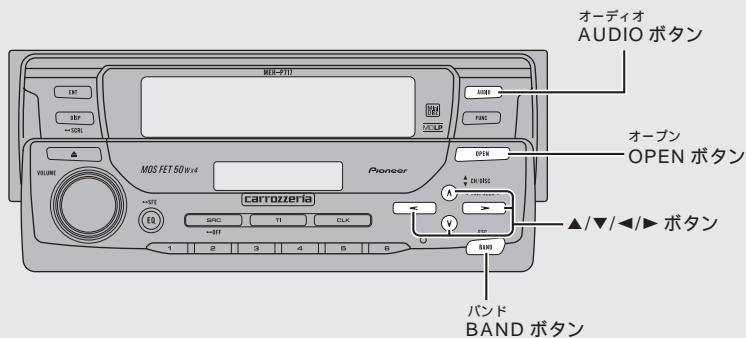


2N、1N、1W、2Wの中から選ぶことができます。

BAND ボタンを押して、イコライザーカーブ詳細設定モードを解除してください。

メモ

“CUSTOM2”以外のカーブを選んでいるときに調節すると、“CUSTOM1”に記憶されます。交通情報 (EBS) その他 (61ページ) を受信しているときは、イコライザーカーブ詳細設定モードには切り換わりません。



音の調節

7

低音を調節する

パス

低音のカットオフ周波数とレベルを調節することができます。SFE (SFE 音の調節① 44ページ) が FRT1のときは、低音調節はリア出力だけに効果があります。

1 低音調節モードにする

AUDIO ボタンを押して選ぶ
(SFE 音の調節① 46ページ)



2 カットオフ周波数とレベルを調節する

周波数を選ぶ

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : 高い周波数を選ぶとき
- ◀ : 低い周波数を選ぶとき



周波数は40、63、100、160 (Hz) のの中から選ぶことができます。

レベルを調節する

▲または▼ ボタンを押す

- ▲ : レベルを大きくするとき
- ▼ : レベルを小さくするとき



レベルは - 6 ~ + 6 の範囲で調節できます。

BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

メモ

SFE が FRT1のときは、フロント出力の低音を調節することはできません。

高音を調節する

トレブル

高音のカットオフ周波数とレベルを調節することができます。SFE (音の調節④ 44ページ) がFRT1またはFRT2のときは、高音調節はフロント出力だけに効果があります。

1 高音調節モードにする

AUDIO ボタンを押して選ぶ

(音の調節③ 46ページ)



2 カットオフ周波数とレベルを調節する

周波数を選ぶ

◀または▶ ボタンを押す

▶ : 高い周波数を選ぶとき

◀ : 低い周波数を選ぶとき



周波数は2.5k、4k、6.3k、10k (Hz) の中から選ぶことができます。

レベルを調節する

▲または▼ ボタンを押す

▲ : レベルを大きくするとき

▼ : レベルを小さくするとき



レベルは - 6 ~ + 6 の範囲で調節できます。

BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

メモ

SFE がFRT1またはFRT2のときは、リア出力の高音を調節することはできません。

小音量時の音にメリハリをつける

ラウドネス

小さな音量で聞いているときの、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。

1 ラウドネスモードにする

AUDIO ボタンを押して選ぶ

(音の調節③ 46ページ)



2 ラウドネスをONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



3 ラウドネスの効果を選ぶ

◀または▶ ボタンを押す

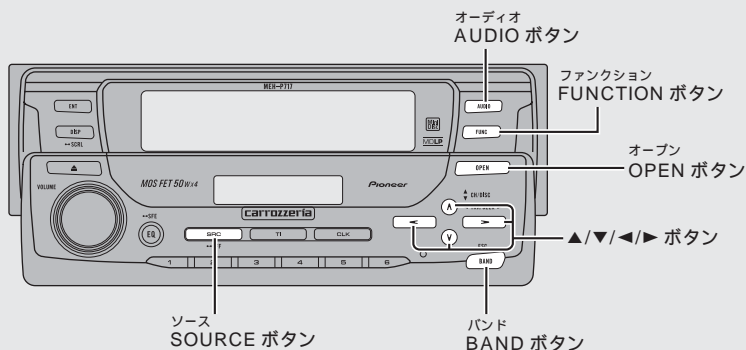
▶ : 効果を大きくするとき

◀ : 効果を小さくするとき



Low (弱)、Mid (中)、High (強) の中から選ぶことができます。

BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

音の調節
10

サブウーファーの接続方法に合わせた設定にする

サブウーファーの接続のしかたによって、「リア出力の設定」や「サブウーファーコントロールの設定」を変える必要があります。接続方法に合わせて、下記の操作を行ってください。

本機のリアスピーカー端子に サブウーファーを接続した場合

1 電源 OFF にする

SOURCE ボタンを 1 秒以上押す

2 フロントパネルを開ける

OPEN ボタンを押す

3 リア出力設定モードにする

FUNCTION ボタンを 2 秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ
(☞ その他④ 62 ページ)

4 “Rear SP : S.W” にする

▼ ボタンを押す (☞ その他⑩ 66 ページ)

5 BAND ボタンを押して、モードを解除する

6 サブウーファーモードにして、サブウーファーを ON にする

サブウーファーモード (☞ 音の調節① 54 ページ) を参照して、サブウーファーを ON にする

メモ

“Sub-W1” を ON にすると位相は、自動的に “Normal” に設定されます。必要に応じて位相やカットオフ周波数、レベルなどを調節してください。(☞ 音の調節① 54 ページ)

RCA出力を使用し、外部アンプにサブウーファーを接続した場合

本機でサブウーファーを調節する場合

1 電源OFFにする

SOURCE ボタンを1秒以上押す

2 フロントパネルを開ける

OPEN ボタンを押す

3 リア出力設定モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ
(☞ その他④ 62ページ)

4 “Rear SP : FULL” にする

▲ ボタンを押す(☞ その他⑩ 66ページ)

5 “S.W Control : INT” にする

◀ ボタンを押す

6 BAND ボタンを押して、モードを解除する

7 サブウーファーモードにして、サブウーファーをONにする

サブウーファーモード (☞ 音の調節① 54ページ) を参照して、サブウーファーをONにする

メモ

“Sub-W1” をONにすると位相は、自動的に“Normal” に設定されます。必要に応じて位相やカットオフ周波数、レベルなどを調節してください。(☞ 音の調節① 54ページ)

外部アンプでサブウーファーを調節する場合

1 電源OFFにする

SOURCE ボタンを1秒以上押す

2 フロントパネルを開ける

OPEN ボタンを押す

3 リア出力設定モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ
(☞ その他④ 62ページ)

4 “Rear SP : FULL” にする

▲ ボタンを押す(☞ その他⑩ 66ページ)

5 “S.W Control : EXT” にする

▶ ボタンを押す

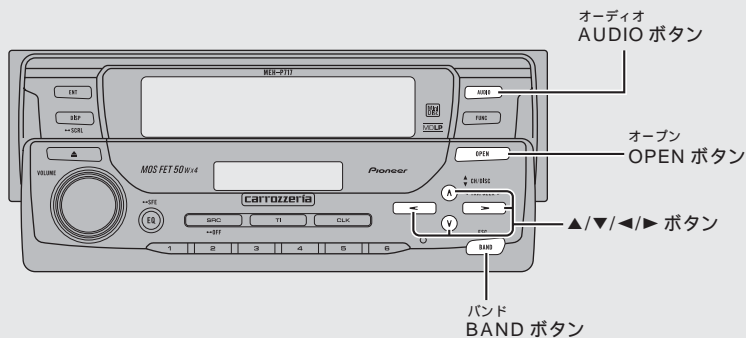
6 BAND ボタンを押して、モードを解除する

7 ノンフェーディングモードにして、ノンフェーディングをONにする

ノンフェーディングモード (☞ 音の調節⑫ 56ページ) を参照して、ノンフェーディングをONにする

メモ

必要に応じてレベルを調節してください。(☞ 音の調節⑫ 56ページ)



音の調節

11

サブウーファーを使う

サブウーファー

本機では、リアスピーカー端子または、RCA出力端子に接続したサブウーファーの調節を行うことができます。(この機能は初期設定でONになっています。)

位相切り換えについて

サブウーファーから出力される音の中には、フロント/リアスピーカーから出力される音と同じ周波数帯域のものが含まれています。車内条件により、これらの音の位相どうしが反転(干渉)すると、その周波数帯域が打ち消し合ってしまうことがあります。この現象を防ぐものが、サブウーファーの位相切り換えです。車内条件によって、位相の正相(フロント/リアスピーカーと同時に出力される)が良いか、逆相(フロント/リアスピーカーとタイミングをずらして出力される)が良いかを選んで設定してください。

カットオフ周波数について

50、80、125(Hz)から選んだ周波数以下の音域がサブウーファーから出力されます。

1 サブウーファーモードにする

AUDIO ボタンを押して選ぶ
(46 音の調節 46ページ)



2 サブウーファーを ON にする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンで OFF)



サブウーファーがONのときに表示されます。

3 位相を切り換える

◀ または ▶ ボタンを押す

- ▶ : Normal (正相)
- ◀ : Rev. (逆相)



Rev. と Normal に切り換えることができます。

4 サブウーファー調節モードにする

AUDIO ボタンを押す



5 カットオフ周波数とレベルを調節する

周波数を選ぶ

◀ または ▶ ボタンを押す

- ▶ : 高い周波数を選ぶとき
- ◀ : 低い周波数を選ぶとき



周波数は 50、80、125 (Hz) の中から選ぶことができます。

レベルを調節する

▲ または ▼ ボタンを押す

- ▲ : レベルを大きくするとき
- ▼ : レベルを小さくするとき

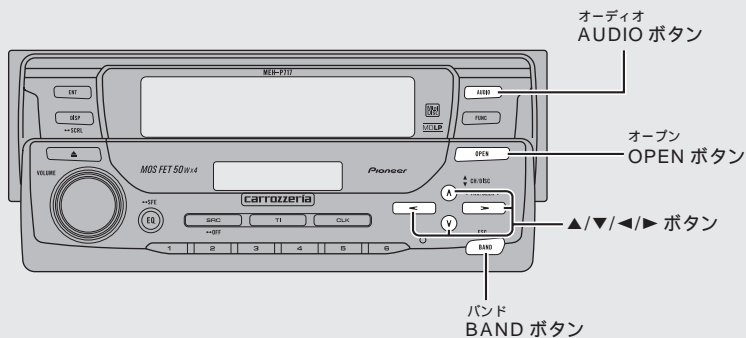


レベルは - 6 ~ + 6 の範囲で調節できます。

BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

メモ

サブウーファーコントロールを “ S.W Control:EXT ” にしたときは、サブウーファーモードには切り換わりません。(その他 67 ページ)
サブウーファーを OFF にしたときは、サブウーファー調節モードには切り換わりません。

音の調節
12

外部アンプなどでサブウーファーを調節する

ノンフェーディング

本機のローパスフィルターを通さずに、原音のままRCA出力から音声信号を出力することができます。さらにその出力レベルを調節することができます。(この機能は初期設定でONになっています。)

1 ノンフェーディング
モードにする

AUDIO ボタンを押して選ぶ
(音の調節 ④ 46 ページ)

2 ノンフェーディングを
ON にする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンで OFF)

3 ノンフェーディング調節
モードにする

AUDIO ボタンを押す



4 レベルを調節する

▲ または ▼ ボタンを押す

▲ : レベルを大きくするとき

▼ : レベルを小さくするとき



- 6 ~ + 6 の範囲で調節できます。

BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

メモ

サブウーファーコントロールを“S.W Control:EXT”にしたときだけ、ノンフェーディングモードに切り換わります。(その他 ⑩ 67 ページ)
ノンフェーディングをOFFにしたときは、ノンフェーディング調節モードには切り換わりません。

低い音をスピーカーから出力させないようにする

ハイパスフィルター (HPF)

ハイパスフィルターをONにすると、選んだ周波数より低い周波数の音が各スピーカーから出力されなくなります。

ハイパスフィルター (HPF) について

ハイパスフィルターは、設定した周波数から下の音域 (低域) をカットして、高域を通すフィルターです。ハイパスフィルターをONにすることにより、サブウーファーとの音のつながりを調節することができます。

カットオフ周波数 について

50、80、125 (Hz) から選んだ周波数より高い周波数の音域が各スピーカーから出力されます。

1 ハイパスフィルターモードにする

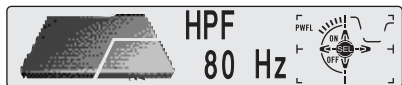
AUDIO ボタンを押して選ぶ

( 音の調節 ④ 46 ページ)



2 ハイパスフィルターをONにする

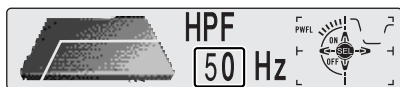
▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)

3 ハイパスフィルターの
カットオフ周波数を選ぶ

◀ または ▶ ボタンを押す

▶ : 高い周波数を選ぶとき

◀ : 低い周波数を選ぶとき



50、80、125 (Hz) の中から選ぶことができます。

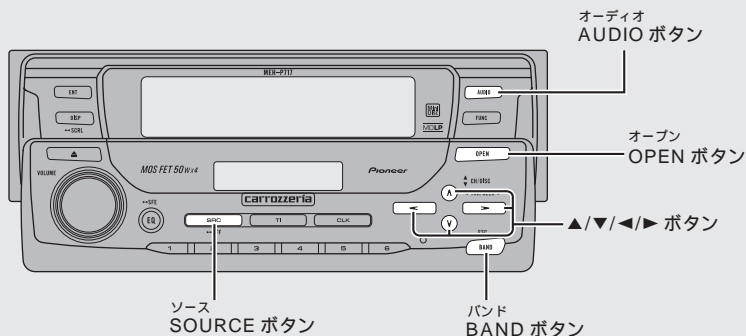
選んだ周波数より高い周波数の音だけが、各スピーカーから出力されます。

BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

メモ

SFE モードを切り換えると、ハイパスフィルターは自動的にOFFになります。

SFE モードとハイパスフィルターを組み合わせる設定するときは、SFE モードを切り換えてから、ハイパスフィルターを設定してください。

音の調節
14

各ソースの音量の違いをそろえる

SLA

ソースを切り換えたとき音量に違いが出ないように、FMの音量を基準にして各ソースの音量の違いをそろえることができます。

1 FMを受信し、FMの音量を確かめる

SOURCE ボタンを押す
(ここだけで② 16 ページ)

2 調節したいソースに切り換える

SOURCE ボタンを押す
(ここだけで① 12 ページ)

3 フロントパネルを開ける

OPEN ボタンを押す

4 SLA モードにする

AUDIO ボタンを押して選ぶ
(音の調節③ 46 ページ)



5 レベルを調節する

▲または▼ボタンを押す

▲ : レベルを大きくするとき

▼ : レベルを小さくするとき



- 4 ~ + 4 の範囲で調節できます。

BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

メモ

SLAとはSource Level Adjuster (ソースレベルアジャスター)の略です。

FMの音量を基準に他のソースとの音量差を調節するため、FMを聞いているときは、SLAモードに切り換えることはできません。

AM、テレビ、CD、MD、External (エクスターナルユニット)、AUX (外部機器)のそれぞれの音量差を調節することができます。なお、内蔵MDとマルチMD、1枚型CDとマルチCD、External1とExternal2、およびAMと交通情報 (その他③ 61 ページ) は同じ設定になります。

騒音に合わせて、自動的に音量が変わるようにすることができます。

ASLについて

ASLとは、Automatic Sound Levelizer (オートマッチック サウンド レベライザー) の略です。

ASLは、走行速度や道路状況によって変化する車内の騒音を検出して、騒音が大きくなると自動的に音量を大きくする機能です。

1 ASLモードにする

AUDIO ボタンを押して選ぶ
(音の調節 ④ 46 ページ)

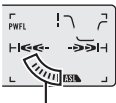


2 ASLをONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



ASLがONのときASLインジケータが表示されます。ASLの効果量は、効果量インジケータで表示されます。



効果量インジケータ

3 ASLの感度を選ぶ

◀ または ▶ ボタンを押す

- ▶ : 感度を高くするとき
- ◀ : 感度を低くするとき



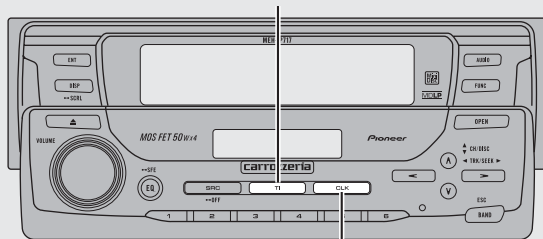
Low、Mid-Lo、Mid、Mid-Hi、Highの中から選ぶことができます。

BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

メモ

音量が十分にあるときは、騒音が大きくても、音量の上げ幅は小さくなります。この機能が働いて音量が上がすぎたとき、音が歪むことがあります。そのときはVOLUMEで音量を下げてください。

トラフィックインフォメーション
TI ボタン



クロック
CLOCK ボタン

その他
1

瞬時に音量を小さくする

アッテネーター

車内の会話が聞き取りにくいときに、瞬時に音量を小さくすることができます。

1 瞬時に音量を小さくする

リモコンの ATT ボタンを押す

(はじめに ① 8 ページ)

ボタンを押すごとに ON/OFF します。



アッテネーターが ON のときに点滅します。

アッテネーターが ON のときは、音量が約 1/10 になります。

その他
2

時計を表示させる

時計表示

本機の電源の ON/OFF にかかわらず、時計を本機の LCD 画面に表示させることができます。

1 時計を表示する

CLOCK ボタンを押す

ボタンを押すごとに ON/OFF します。



時計表示

メモ

時計は、本機の LCD 画面に表示されます。エンタテインメント表示を、エンタテインメントクロック (その他 ④ 69 ページ) に設定したときには、OEL 画面にも表示されます。

本機の電源が ON の場合は、時計表示のときに他の操作をすると、時計表示は一度解除されます。その場合、フロントパネルが OPEN 状態のときは約 5 秒後、CLOSE 状態のときは約 25 秒後に、時計表示に戻ります。

時計を合わせるには (その他 ⑤ 63 ページ)

交通情報を受信する

AM 1,620 kHzまたは1,629 kHzの交通情報を、簡単に受信することができます。

1 交通情報を受信する

TIボタンを押す



交通情報受信中に表示されます。

AM 1,620 kHzの交通情報を受信します。

2 放送に合わせて周波数を切り換える

◀または▶ボタンを押す

▶ : 1,629 kHz にするとき

◀ : 1,620 kHz にするとき



受信周波数

3 交通情報の受信をやめる

TIボタンを押す

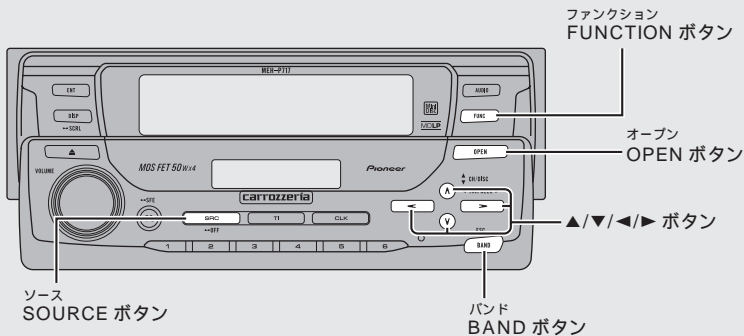
交通情報を受信する前の状態に戻ります。

メモ

この機能は、電源がOFFのときでも、どのソースからでも操作できます。

交通情報を受信しているときに音量を調節すると、交通情報用の音量として設定することができます。交通情報を受信すると、自動的に交通情報用のイコライザーカーブに切り換わります。交通情報の受信をやめるとイコライザーカーブは、元の状態に戻ります。

交通情報を受信しているときは、イコライザー調節モードには切り換わりません。



その他
4

初期設定モードの切り換えかた

外部機器やディマーの設定をするときは、初期設定モードを切り換えて操作します。

1 電源を OFF にする

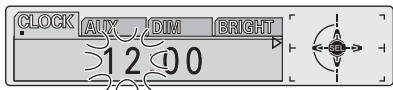
SOURCE ボタンを 1 秒以上押す
(☞ ここだけで① 12 ページ)

2 フロントパネルを開ける

OPEN ボタンを押す

3 初期設定モードにする

電源が OFF のときに、FUNCTION ボタンを 2 秒以上押す



初期設定モードになります。

4 初期設定モードを切り換える

FUNCTION ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

時計調節モード (☞ その他⑤)

AUX (外部機器) モード (☞ その他⑥)

ディマーモード (☞ その他⑥ 65 ページ)

ブライツモード (☞ その他⑨ 65 ページ)

リア出力設定モード (☞ その他⑩ 66 ページ)

TEL ミュート/アッテネートモード
(☞ その他⑫ 67 ページ)

モーションモード (☞ その他⑬ 68 ページ)

時計調節モードに戻る

メモ

初期設定モードを解除するには、BAND ボタンを押します。(解除すると、電源が OFF になります。)

その他

5

時計を合わせる

時計合わせ

時計を合わせることができます。

1 時計調節モードにする

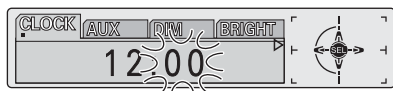
電源がOFFのときに、FUNCTION ボタンを2秒以上押す(☞ その他④)



2 時計の設定をする

時または分を選ぶ

◀または▶ ボタンを押す



押すごとに時または分が切り換わります。

時刻を合わせる

▲または▼ ボタンを押す

▲ : 時刻を進めるとき

▼ : 時刻を戻すとき



分を調節すると、0秒からカウントが始まります。

BAND ボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

その他

6

外部機器の音声を聞く

AUX (外部機器) の設定

本機にDATやVTRなどの外部機器を接続すると、その音声を聞くことができます。

外部機器との接続について

別売のRCA/IP-BUSインターコネクター「CD-RB20」または「CD-RB10」を使うと、RCA出力のあるDATやVTRを、外部機器として本機に接続することができます。詳しくは、RCA/IP-BUSインターコネクターの説明書をご覧ください。

1 AUX (外部機器) モードにする

電源OFFのときにFUNCTION ボタンを2秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ(☞ その他④)



2 AUX (外部機器) の設定をONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



BAND ボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

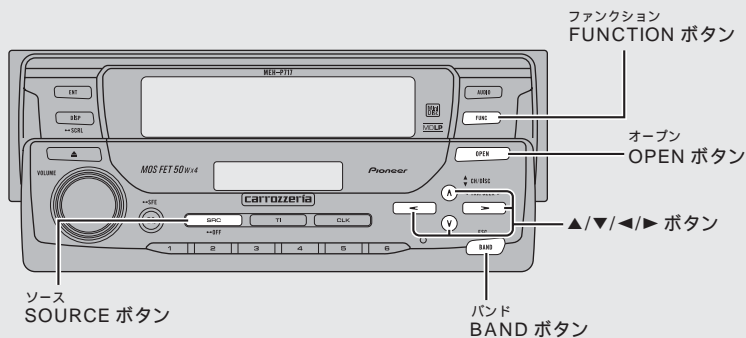
3 ソースをAUXにする

SOURCE ボタンを押して選ぶ

(☞ ここだけで① 12 ページ)



ソースをAUXに切り換えると、外部機器の音声が出力されます。



その他
7

外部機器の名称を入力する

接続した外部機器の名称を入力することができます。

1 ソースを AUX にする

SOURCE ボタンを押して選ぶ
(ここだけで① 12 ページ)



2 フロントパネルを開ける

OPEN ボタンを押す

3 外部機器の名称入力モードにする

FUNCTION ボタンを 2 秒以上押す



4 外部機器の名称を入力し、記憶させる (マルチ CD⑩ 36 ページ)

CD タイトル入力の手順 3 ~ 5 を参照し、同様の操作で外部機器の名称を記憶させてください。

外部機器の名称は、8 文字まで入力することができます。

例) “ DAT ” を入力した場合



“ AUX ” の表示のかわりに、入力した名称が表示されます。

メモ

外部機器の名称にカタカナを使用した場合、LCD 画面には “ AUX ” と表示されます。(LCD 画面には、カタカナは表示されません。)

夜間のディスプレイの明るさを切り換える

ディマー

夜間、周囲が暗くなったときにディスプレイがまぶしくならないように、車のライトをONにするとディマーが働き、ディスプレイが暗くなります。

1 ディマーモードにする

電源OFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押してから、FUNCTIONボタンを押して選ぶ(☞ その他④ 62ページ)



2 ディマーの設定をONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



BANDボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

メモ

車のライトをONにしてディマーが働いているときでも、ブライต์モード(☞ その他⑨)でディスプレイの明るさを“0”に調節しているときは、ディスプレイの明るさを変えることはできません。

ディスプレイの明るさを調節する

ブライต์

ディスプレイの明るさを調節することができます。

1 ブライต์モードにする

電源OFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押してから、FUNCTIONボタンを押して選ぶ(☞ その他④ 62ページ)



2 明るさを調節する

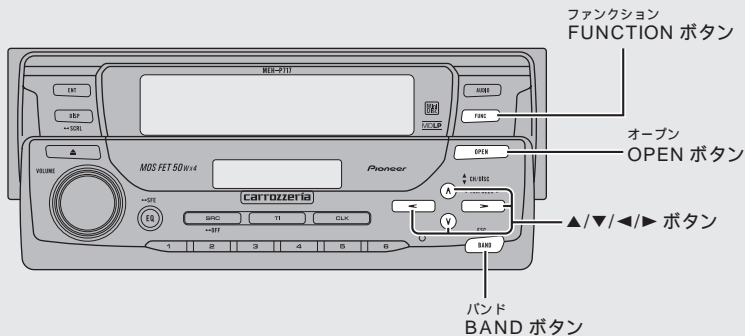
◀ または ▶ ボタンを押す

- ▶ : 明るくしたいとき
- ◀ : 暗くしたいとき



0 ~ 15の範囲で調節できます。

BANDボタンを押して、初期設定モードを解除してください。



その他
10

リアの出力方法を変える

リアスピーカー出力の設定

リア出力に接続するスピーカーの種類に合わせて切り換えます。フルレンジスピーカーを接続する場合は、“Rear SP : FULL” に切り換えます。また、サブウーファーを接続する場合は、“Rear SP : S.W” に切り換えます。リア出力の設定を “Rear SP : S.W” に切り換えると、リアスピーカー端子にサブウーファーを直接接続することができます。

1 リア出力設定モードにする

電源 OFF のときに FUNCTION ボタンを 2 秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ (☞ その他 62 ページ)



メモ

リア出力の設定は、リアスピーカー端子と RCA 出力を同時に切り換えます。どちらか一方のみを切り換えることはできません。

2 リアの出力方法を選ぶ

- ▲ または ▼ ボタンを押す
- ▲ : Rear SP : FULL (フルレンジのとき)
- ▼ : Rear SP : S.W (サブウーファーのとき)



BAND ボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

サブウーファースの調節先を選ぶ

サブウーファーコントロールの設定

RCAサブウーファー出力にサブウーファーを接続する場合、本機のオーディオ調節モードでサブウーファーを調節する“S.W Control:INT”と、外部アンプでサブウーファーを調節する“S.W Control:EXT”が選べます。(この機能は初期設定で“Rear SP:FULL”になっています。)

1 リア出力設定モードにする

電源OFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押してから、FUNCTIONボタンを押して選ぶ (☞ その他④ 62ページ)



2 リア出力を“Rear SP:FULL”にする

▲ ボタンを押す



3 サブウーファーコントロールを設定する

◀または▶ ボタンを押す

- ◀ : S.W Control:INT (本機で調節するとき)
- ▶ : S.W Control:EXT (外部アンプで調節するとき)



BANDボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

メモ

サブウーファーコントロールの設定を“S.W Control:EXT”にしたときは、オーディオ調節モードでノンフェーディングの設定を行ってください。サブウーファーコントロールの設定を“S.W Control:INT”にしたときは、本機のオーディオ調節モードでサブウーファーを調節してください。サブウーファーコントロールの設定を切り換えるとオーディオ調節モードで行った設定は、リセットされます。

ミュート/アッテネート切り換え

ミュート機能のある製品 (パイオニア製ナビゲーションシステム「AVIC-H07V」など)と本機を組み合わせると、その製品からミュート信号を受け取っているときだけ、ミュートまたはアッテネート機能が働きます。ミュート機能が働いているときの音量は“0”で、アッテネート機能が働いているときの音量は、元の音量の約1/10です。ミュートまたはアッテネート機能が解除されると、自動的に元の音量に戻ります。

1 ミュート/アッテネートモードにする

電源OFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押してから、FUNCTIONボタンを押して選ぶ (☞ その他④ 62ページ)



2 信号入力時の設定を選ぶ

◀または▶ ボタンを押す

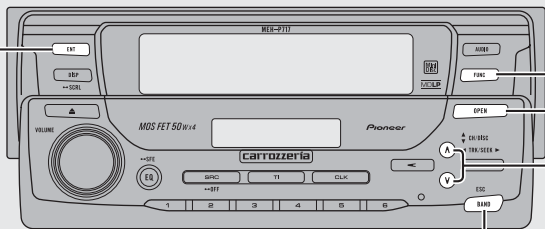
- ▶ : MUTE (ミュート)
- ◀ : ATT (アッテネート)



BANDボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

エンタテインメント
ENTERTAINMENT ボタン

ファンクション
FUNCTION ボタン



オープン
OPEN ボタン

▲/▼ボタン

バンド
BAND ボタン

その他
13

背景の設定をする

ディスプレイに表示されるソース画面の背景の動画をON/OFFすることができます。OFFにすると、ソースのオープニングアニメーションを表示後しばらくすると背景が消えます。

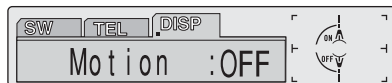
1 モーションモードにする

電源OFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押してから、FUNCTIONボタンを押して選ぶ (☞ その他④ 62ページ)



2 モーションの設定をする

▲ボタンを押す (▼ボタンでOFF)



BANDボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

メモ

エンタテインメント表示が、ムービーソースアイコン (☞ その他⑬) 以外の場合は、背景は消えません。

音楽などを聞いているときに、ディスプレイの表示をエンタテインメント表示に切り換えることができます。車内で、いろいろな表示を楽しむことができます。

エンタテインメント表示について

エンタテインメント表示は、音楽などを聞いているときに、ディスプレイにいろいろな動画などを表示する機能です。

1 フロントパネルを開ける

OPEN ボタンを押す

2 エンタテインメントを表示する

ENTERTAINMENT ボタンを押すボタンを押すごとに次のように切り換わります。

ムービーソースアイコン（再生経過時間）

バックグラウンドビジュアルモード1

バックグラウンドビジュアルモード2

バックグラウンドビジュアルモード3

バックグラウンドビジュアルモード4

バックグラウンドビジュアルモード5

バックグラウンドビジュアルモード6

スペクトラムアナライザーモード1

スペクトラムアナライザーモード2

バス・トレブルメーター1

バス・トレブルメーター2

バス・トレブルメーター3

ムービースクリーンモード1（ビッグブルー）

ムービースクリーンモード2（ブレイジング）

エンタテインメントクロック

ムービーソースアイコン（再生経過時間）に戻る

使用できる MD について

下記マークの付いている MD (ミニディスク) をご使用ください。



音楽用以外の MD は使用しないでください。
故障の原因になります。

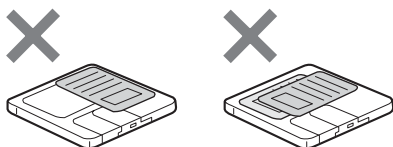
取り扱い上のご注意

MD のシャッターを手であけないでください。
無理にあげるとこわれることがあります。

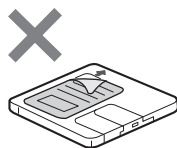


ラベルについて

MD に付属のラベルは、必ず指定の位置に貼ってください。指定以外の位置に貼ったり、2枚重ねて貼ったりすると、MD が取り出せなくなることがあります。

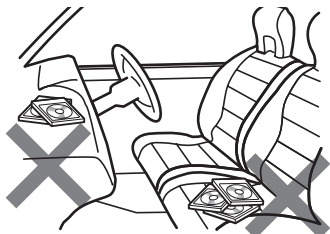


ラベルがめくれたり、浮いたりした MD は使用しないでください。ラベルが引っかかり、MD が取り出せなくなります。このような MD は新しいラベルに貼り換えてからお使いください。



保管上のご注意

MDは、直射日光の当たるところや高温になるところには、保管しないでください。



寒いときの結露について

寒いとき、ヒーターを入れた直後にMDの再生を始めると、本機内部の光学系レンズやMDにつゆが付いて、正常な再生ができないことがあります。

このようなときは、1時間ほど放置して自然につゆがとれるのを待ちください。MDのカートリッジ表面に付いたつゆは柔らかい布で拭いてください。

お手入れについて

MDのカートリッジ表面が汚れたときは、柔らかいきれいな布で軽く拭いてください。

MDにベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。



MD用クリーニングディスクを使用するときは、クリーニングディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。

クリーニングディスクによっては製品の故障の原因になる場合があります。

TOC について

TOC (Table Of Contents) とは、CD・MD・DATなどに収録されている曲数、演奏時間、タイトルなどの音声信号以外の情報のことです。

故障かな？と思ったら

故障かな？
と思ったら
修理を依頼される前に、
次の表の内容をチェック
してください。



チェックしても
直らないときは
保証書とアフターサービ
ス (E3 その他 75 ページ)
をお読みになり、修理を
依頼してください。

共通項目

症 状	原 因	処 置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクタが 正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、 もう一度確認してください。 (E3 取付説明書)
	ヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し、切れた ヒューズを同じ容量のものと同交換してく ださい。(E3 取付説明書)
音が出ない。 音が小さい。	音量を下げている。	音量を上げてください。 (E3 ここだけで 2 15 ページ) (E3 ここだけで 3 17 ページ) (E3 ここだけで 4 19 ページ)
	アッテネーターが ON に なっている。	アッテネーターを解除してください。 (E3 その他 1 60 ページ)
	前後の音量バランスの調節 が適切でない。	正しく調節してください。 (E3 音の調節 4 47 ページ)
前または後ろのスピーカ ーから音が出ない。	前後の音量バランスの調節 が適切でない。	正しく調節してください。 (E3 音の調節 4 47 ページ)
左または右のスピーカ ーから音が出ない。	左右の音量バランスの調節 が適切でない。	正しく調節してください。 (E3 音の調節 4 47 ページ)
ディスプレイが反転表示 する。	デモモードが ON になっ ている。	デモモードを OFF にしてください。 (E3 はじめに 4 10 ページ)

ラジオ



症 状	原 因	処 置
ラジオの受信中、“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	放送局の周波数が合っていない。	周波数を正しく合わせてください。 (☞ ここだけで③ 17ページ)
	放送局の電波が弱い。	他の放送局を選局してみてください。 (☞ ここだけで③ 17ページ)
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音も少なくなります。
自動選局できない。	放送局の電波が弱い。	手動で選局してください。 (☞ ここだけで③ 17ページ)

MD

症 状	原 因	処 置
MD再生中、大きな雑音が出る。 MDの再生が途中で止まる。	MDが極端に汚れている。	MDを交換してください。
	MDにくもりや水滴がついている。	
	録音されていないMDを挿入した。	
	MDが正しい方向に挿入されていない。	MDを取り出し、正しい方向に挿入してください。(☞ ここだけで② 14ページ)

こんなメッセージが表示されたら

MDを正常に再生できないときは、ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

メッセージ(エラー番号)	メッセージが表示される時	処 置
「NO Disc Title」	ディスク名が入力されていないMDを再生中にディスク名表示に切り換えたとき。	ディスク名表示以外の表示に切り換えてください。 ( 内蔵 MD ⑥ 23 ページ)
「NO Track Title」	曲名が入力されていない曲を再生中に曲名表示に切り換えたとき。	曲名表示以外の表示に切り換えてください。( 内蔵 MD ⑥ 23 ページ)
「TEMP」	本機の内部温度が高いとき。	内部温度が下がるまでお待ちください。
「ERROR 11、12、17、30」	MDが汚れているとき。 MDにキズやひびがあるとき。	他のMDと交換してください。
「ERROR 20、21」	振動などが原因で曲の情報を読み取れなかったとき。	MDを取り出し、もう一度入れ直してください。それでも同じメッセージが表示される場合は、他のMDと交換してください。
	MDに異常(損傷している、TOCが入っていないなど)があるとき。	
「ERROR 22、24」	MDに異常(損傷している、TOCが入っていないなど)があるとき。	他のMDと交換してください。
「ERROR 23」	音楽以外の情報が記録されたMDを使用したとき。	音楽が録音されたMDを使用してください。
「ERROR 01、11、12、17、30、A0」	本機の電気系、機構系の故障が考えられるとき。	車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにするか、MD再生を一度やめて、もう一度MD再生にしてください。
「ERROR A1」	本機の電気系、機構系の故障が考えられるとき。	車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにするか、MD再生を一度やめて、もう一度MD再生にしてください。
「ERROR」	MDが何らかの原因で再生しないとき。	他のMDと交換してください。
「BLANK DISC」	何も録音されていないMDを挿入したとき。	他のMDと交換してください。

マルチMD再生中に、上記以外のエラーメッセージが表示されたときは、マルチMDの取扱説明書をご覧ください。

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。所在地、電話番号は本機に付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

本機の操作の概要

本機の操作のまとめです。ひと通りの操作が終わった後、操作を忘れたときなどにお使いください。

ふだん使う機能の操作のしかた

ふだん使う機能は、▲/▼/◀/▶ ボタンおよびBANDボタンで操作します。

聞いている ソース 押すボタン	CD、MDを聞いているとき	ラジオ、テレビを聞いているとき
◀または▶ ボタン	選曲、早送り/早戻し	自動選局、手動選局
▲または▼ ボタン	再生するディスクの切り換え(マルチCD、マルチMDを接続している場合のみ)	記憶させた放送局の切り換え
BAND ボタン	—————	バンド (FM/AM) の切り換え

便利な機能の操作のしかた

ふだん使う機能以外は、オペレーションモードを切り換えて操作します。オペレーションモードには5つのモードがあり、次の手順で操作します。

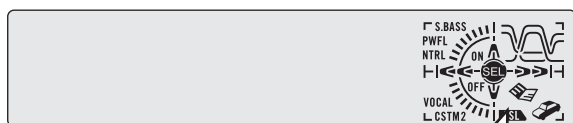
手 順	モード	ファンクション モード	詳細設定 モード	初期設定 モード	オーディオ 調節モード	イコライザーカーブ 詳細設定モード
1	それぞれの モードにする	FUNCTION ボ タンを押す	FUNCTION ボタンを2 秒以上押す	電源がOFF のときに FUNCTION ボタンを2秒 以上押す	AUDIO ボ タンを押す	AUDIO ボタン を2秒以上押す
2	機能を切り換える	FUNCTION ボタンを押す			AUDIO ボ タンを押す	AUDIO ボタンを 押す(バンド切り 換え)
3	機能をON/OFFする または機能を切り換える	▲または▼ボタンを押す				
		◀または▶ボタンを押す				
4	それぞれの モードを解除する	BAND ボタンを押す				

それぞれのモードで操作できる機能について

- ファンクションモード** : 内蔵 MD のリピート再生 (☞ 内蔵 MD ② 20 ページ) やマルチ CD のスキャン再生 (☞ マルチ CD ④ 31 ページ) など、それぞれのソースの便利な機能を操作できます。
- 詳細設定モード** : ラジオの放送局名選択 (☞ ラジオ ④ 26 ページ) やマルチ CD のタイトル入力 (☞ マルチ CD ⑩ 36 ページ) など、便利な機能の詳細を設定できます。
- 初期設定モード** : 外部機器 (☞ その他 ⑥ 63 ページ) などの設定ができます。
- オーディオ調節モード** : フェーダー/バランス (☞ 音の調節 ④ 47 ページ) など、音質に関する調節ができます。
- イコライザーカーブ** : イコライザーカーブを細かく調節できます。
詳細設定モード (☞ 音の調節 ⑥ 49 ページ)

ガイド表示について

本機の操作を行っているとき、ディスプレイを見て操作ができるように、ディスプレイにガイド表示が出ます。



▲/▼/◀/▶ ボタンの中で、操作可能なボタンが表示されます。

表示の例	内容
	▲/▼/◀/▶ ボタンで操作できます。
	▲または▼ボタンで機能のON/OFFができます。
	◀または▶ボタンで項目を選ぶことができます。

MD プレーヤー部

形式 : ミニディスクデジタル
オーディオシステム
使用ディスク : ミニディスク
信号
フォーマット : サンプリング周波数 : 44.1 kHz
量子化ビット数 : 16 ビット直線
周波数特性 : 20 ~ 20,000 Hz (± 1 dB)
S/N : 94 dB (1 kHz)
(IHF-A ネットワーク)
ダイナミック
レンジ : 92 dB (1 kHz)
チャンネル数 : 2 (ステレオ)

FM チューナー部

受信周波数帯域 : 76.1 ~ 89.9 MHz
実用感度 : 9 dBf (0.8 μV/75 、
モノラル、S/N : 30 dB)
S / N 50 dB
感度 : 14 dBf
(1.4 μV/75 、モノラル)
S / N : 70 dB (IHF-A ネットワーク)
高調波歪率 : 0.3 %
(65 dBf 入力、1 kHz、ステレオ)
周波数特性 : 30 ~ 15,000 Hz (± 3 dB)
ステレオ
セパレーション : 40 dB (65 dBf 入力、1 kHz)

AM チューナー部

受信周波数帯域 : 522 ~ 1,629 kHz (9 kHz)
実用感度 : 18 μV (S/N : 20 dB)
実効選択度 : 50 dB (± 9 kHz)

アンプ・オーディオ部

最大出力 : 50 W x 4
50 W x 2ch/4 + 70 W x 1ch/2
(for サブウーファー)
定格出力 : 22 W x 4
(50 ~ 15,000 Hz、5 % THD)
負荷
インピーダンス : 4
(4 ~ 8 [2 for 1ch] 使用可能)
プリアウト
最大出力レベル : 2.2 V
出力
インピーダンス : 1 k

イコライザー

(3 バンド)
パラメトリック
イコライザー) : (LOW)
周波数 : 40/80/100/160 Hz
Qファクター : 0.35/0.59/0.95/1.15
(+6 dB ブースト時)
調整幅 : ± 12 dB
(MID)
周波数 : 200/500/1K/2K Hz
Qファクター : 0.35/0.59/0.95/1.15
(+6 dB ブースト時)
調整幅 : ± 12 dB
(HIGH)
周波数 : 3.15K/8K/10K/12.5K Hz
Qファクター : 0.35/0.59/0.95/1.15
(+6 dB ブースト時)
調整幅 : ± 12 dB

ラウドネス

コンター : LOW : 3.5 dB (100 Hz)
3 dB (10 kHz)
MID : 10 dB (100 Hz)
6.5 dB (10 kHz)
HIGH : 11 dB (100 Hz)
11 dB (10 kHz)
(ポリウム : - 30 dB)

トーン

コントロール : (バス)
周波数 : 40/63/100/160 Hz
ゲイン : ± 12 dB
(トレブル)
周波数 : 2.5K/4K/6.3K/10K Hz
ゲイン : ± 12 dB

ハイパス

フィルター : 周波数 : 50 Hz/80 Hz/125 Hz
スロープ : - 12 dB/oct.

サブウーファー

出力：周波数 : 50/80/125 Hz
スロープ : - 18 dB/oct.
ゲイン : ± 12 dB
位相 : NORMAL/REVERSE

共通部

使用電源 : DC 14.4 V
(10.8 ~ 15.1 V 使用可能)
アース方式 : マイナスアース方式
最大消費電流 : 10.0 A
外形寸法
(フェイス閉時)
(取付寸法) : 178 (W) × 50 (H) × 162 (D) mm
(ノーズ寸法) : 170 (W) × 44 (H) × 23 (D) mm
(フェイス開時)
(取付寸法) : 178 (W) × 50 (H) × 162 (D) mm
(ノーズ寸法) : 170 (W) × 64 (H) × 45 (D) mm
質量 : 1.5 kg (コードユニット含まず)

付属品

コードユニット : 1
取付ネジ類 : 1 式
リモート
コントローラー : 1
リチウム電池
(CR2025) : 1
取扱説明書 : 1
取付説明書 : 1
安全上のご注意 : 1
保証書 : 1
ご相談窓口・
修理窓口のご案内 : 1

ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品。

メモ

上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。



この説明書の印刷には、植物性大豆インキを使用しています。

お客様ご相談窓口 (全国共通フリーフォン)

カスタマーサポートセンター

カーオーディオ / カーナビゲーション商品のお問い合わせ窓口

 **0070-800-8181-11**

カタログのご請求窓口

 **0070-800-8181-33**

<ご注意> PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話、および海外からの国際電話ではご利用になれません。あらかじめご了承ください。
修理に関しては、別添えの『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご参照ください。

ホームページでのカタログ請求とメールサービス登録のご案内

<http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg.html>

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

この説明書は、再生紙を使用しています。

© パイオニア株式会社 2001

<KSNZF/01K00000> <CRA3269-A>